




## バイク専用ドライブレコーダー EDR-22G/EDR-22

# 取扱説明書

このたびは、「バイク専用ドライブレコーダー EDR-22G/EDR-22」をお買い上げ  
頂きましてありがとうございます。  
正しく安全にお使い頂くために、本書をよくお読みください。

■本書では、安全上重要な項目に下記のマークを表示しています。  
各マークの意味は次の通りです。

 危険	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性が高い」ことを意味します。
 警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」ことを意味します。また、「法律に違反する」ことを意味します。
 注意	取り扱いを誤った場合、「傷害を負う危険が想定される」ことや「物的損害が発生する恐れがある」ことを示しています。

- ※ 本品及び関連ソフトウェアの仕様や外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- ※ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

## ■ アフターサービスについて

使用中に正常に動作しなくなったときは、「こんなときは-Q&A-」(49～51 ページ)を  
参考にご確認ください。記載された処置をおこなっても改善が見られないときは、販売店様  
または弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

株式  
会社 **ミツバサンコーワ**

本社 / 〒175-0094 東京都板橋区成増 3-3-4  
<https://www.mskw.co.jp>

●商品に関するお問い合わせ窓口  
株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター  
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3

☎ 0277-30-5802

# 目次

■ アフターサービスについて	1
■ 目次	2
■ 安全上の注意	3
■ 使用上の注意	4~5
■ SDカードについて	6
■ 専用スマートフォンアプリ「Moto DR」について	7
■ 専用PCソフト「Moto DR Player」について	7
■ 専用スマートフォンアプリ/ PCソフトで出来ること	8
■ 録画/録音設定項目一覧	9
■ 録画時間の目安	10
■ 主な仕様	11~12
■ EDR-22G 構成部品	13
■ EDR-22G 各部の名称・他	13
■ EDR-22 構成部品	14
■ EDR-22 各部の名称・他	14
■ 取り付け方法	
● 取り付け上の注意	15
● 取り付け手順	16~19
■ 取り付け後の初期設定	20~25
■ 使用方法	
● 常時録画	26
● 常時録画の保存方法について	26
● イベント録画（衝撃録画）	27
● イベント録画（手動録画）	27
● イベント録画（衝撃録画・手動録画）の保存方法について	28
■ インジケータ表示一覧	29~31
■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する（Android）	32~35
■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する（iOS）	36~38
■ SDカードをフォーマットする	39
■ カメラの撮影映像を確認する	40~41
■ 時刻同期させる	42
■ 設定画面を表示させる	43
■ 無線LANパスワードを変更する	44~47
■ 無線LANパスワードを初期化する	48
■ 本体の設定を初期化する	48
■ こんなときは - Q&A -	49~51
■ ライセンス情報	51
■ ご愛用者登録について	52

## ■ 安全上の注意

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読み頂き、正しくお使いください。  
ここに記載された注意事項は、本品を安全に正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。



危険

- ・異常、故障、破損時は、直ちに使用を中止し、本品の電源コード(赤)を外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- ・本品は、無線通信(2.4GHz帯)を使用しています。心臓ペースメーカーや除細動器等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご相談ください。
- ・本品(本体、カメラ、スイッチ、GPSアンテナ、電源ユニット、各種ケーブル・コード類)を絶対に分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・カメラステーのねじの緩み、取り付けた部品の両面テープにはがれ等がないか、定期的に点検をおこなってください。部品の脱落、事故、故障の原因となります。
- ・本品は、12Vバッテリー搭載車専用です。6V車やバッテリーレス車等へは、取り付けしないでください。火災、故障の原因となります。



警告

- ・走行中にスマートフォンの操作を絶対にしないでください。事故の原因となります。必ず、安全な場所に停車してから操作してください。
- ・走行中に無線LAN接続の操作はしないでください。事故の原因となります。
- ・走行中は、スイッチのインジケータを注視しないでください。事故の原因となります。また、このような行為は、道路交通法第71条への違反となり、処罰の対象となります。
- ・本体のラベルには、技術基準適合番号が印刷されています。このラベルは、絶対にはがさないでください。はがした状態で使用すると、電波法違反となります。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。



注意

- ・本品を長期間使用しない場合は、電源ユニットの中継コネクタを外してください。車両のバッテリー上がりの原因となります。
- ・電源ユニットの中継コネクタを外した場合、中継コネクタの金属部分がバッテリーのプラス端子に接触しないようにビニールテープ等で絶縁処理してください。ショートによる火災や火傷、本品及び車両故障の原因となります。
- ・外した中継コネクタは、ビニールテープ等で水や異物が入らないようにしてください。故障の原因となります。
- ・本品を落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
- ・本品の近くに強い磁気があるものを置かないでください。故障の原因となります。
- ・本品にガソリン、油脂類、有機溶剤、酸、ブレーキフルード等を付着させないでください。付着部の劣化、破損、故障の原因となります。
- ・指定以外のヒューズは、使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。必ず、規定の容量(アンペア)のものと交換してください。
- ・SDカードスロットに異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・濡れた手でSDカードの抜き挿しや中継コネクタの抜き挿しは、おこなわないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・SDカードの抜き挿しは、本品の電源がOFFの状態(IG OFF)でおこなってください。故障の原因となります。

# ■ 使用上の注意

## 録画に関する注意

- ・本品は、すべての状況下において、映像や音声の記録を保証するものではありません。事故の大きさや水没等で、本品及び SD カードが損傷を受けた場合、映像を記録出来ない場合があります。
- ・本品によって記録された映像等は、事故の証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・本品の故障や使用によって生じた損害(記録された映像やデータの消失、損傷、破損など)について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本品の映像記録周期と LED 式信号機の周期によって、点滅または消灯して撮影される場合があります。また、逆光等の環境によって、色の識別が出来ない場合があります。この事象により発生した損害について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本品のカメラは、広角レンズを使用しています。広角レンズの特性により、映像の一部にゆがみや影が生じます。また、実際の遠近感と異なった映像となります。
- ・事故発生時の録画ファイルを残す場合は、SD カードを本体から取り外して保管するか、事故発生時の録画ファイルを専用スマートフォンアプリからロック(保護)してください。また、スマートフォンや PC にファイルをコピーするなどの対応をおこなってください。
- ・本品で録画した映像は、使用目的や使用方法によって、プライバシー等の権利を侵害する場合があります。これについて、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・映像を鮮明に録画するため、走行前にカメラのレンズに汚れが付着していないことを確認してください。汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると、レンズ傷つきの原因となります。
- ・本体内蔵の時計は、誤差が生じます。そのため、実際の時刻と録画されている時刻にズレが生じている場合があります。時刻ズレ防止のため、専用スマートフォンアプリで、定期的(1 ヶ月に 1 回)に時刻同期することをおすすめします。  
EDR-22G は録画開始後、GPS 電波を受信することにより自動的に時刻同期されますが、録画開始時のファイルに記録される時刻にズレが生じる場合があります。前回の走行から期間が空いた場合には、走行前に専用スマートフォンアプリで時刻同期をおこなってください。
- ・バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合、初期時刻(2022 年 1 月 1 日)にリセットされます。再度、時刻同期をおこなってください。

## GPS機能に関する注意

- ・GPS による測位は、周囲の環境により測位出来ないことや測位するまでに時間がかかったり、誤差が生じることがあります。
- ・GPS アンテナは、電波の受信に影響ない場所へ取り付けてください。GPS アンテナ上部を金属や金属コーティングされた部品等で覆ったりすると、GPS 電波を受信出来ず、測位しないことがあります。GPS アンテナは、電波の受信に影響のない場所へ取り付けてください。
- ・走行時にトンネルやビル街などで GPS 電波を受信出来なくなった場合、再度測位するまで時間がかかることがあります。
- ・他の車載電子機器から出来るだけ離して取り付けてください。他の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 電波を受信出来ず、測位しないことがあります。
- ・本品の近くで、大出力の無線機器を使用しないでください。無線機器の発する電波により、誤動作等する恐れがあります。

# ■ 使用上の注意(つづき)

## 無線 LAN に関する注意

- ・本品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として、技術基準適合を受けています。そのため、本品を使用するときに無線局の免許は必要有りませんが、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- ・本品が使用する周波数帯(2.4GHz 帯)では、電子レンジなどの家電製品や産業、科学、医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局などが運用されています。本品を使用する前に、近くでそれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本品とそれらの無線局との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本品の使用場所を変えるか、本品の使用を停止してください。
- ・本品は、すべてのスマートフォンとの接続動作を確認しておりませんので、すべてのスマートフォンとの接続動作を保証するものではありません。

## 取り扱いに関する注意

- ・本体は、金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に固定しないでください。無線 LAN の通信状態が悪化する恐れがあります。
- ・洗車時に高圧洗浄機や細く絞ったホースの高圧水を本品に直接かけないでください。故障の原因となります。
- ・本体、カメラ、スイッチ、GPS アンテナ、電源ユニットを清掃する場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると、傷の原因となります。また、ベンジンやシンナー等の溶剤や研磨剤は、絶対に使用しないでください。部品の劣化、破損、故障の原因となります。
- ・本品を長期間使用しないときは、電源ユニットの中継コネクタを外してください。その場合、本品に設定された日時はリセットされます。
- ・外した中継コネクタは、ビニールテープ等で水や異物が入らないようにしてください。故障の原因となります。
- ・本体天面のマイク孔に棒状のものを挿し込まないでください。浸水、故障の原因となります。
- ・防水キャップにある呼吸孔へ棒状のものを挿し込んだり、呼吸孔をふさがないでください。浸水、故障の原因となります。
- ・本体の防水キャップを開いた部分に貼られているシリアルラベルは、絶対にはがさないでください。保証規定により修理、交換等の保証を受けられない場合があります。
- ・本体の防水キャップは、スライドキャップで確実にロックをしてください。浸水、故障の原因となります。
- ・本体の防水キャップは、開いた状態で使用しないでください。浸水、故障の原因となります。

# ■ SD カードについて<sup>※1</sup>

●本品には、付属の SD カードまたは弊社製 SD カードをご使用ください。

SD カードを新たに購入される場合には、オプションの推奨 SD カードをおすすめします。商品の詳細については、下記 URL または二次元コードからご確認ください。

[https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/option#div\\_02](https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/option#div_02)



●本品では、以下条件の SD カードをご使用ください。<sup>※2</sup>

記憶媒体	microSDHC / microSDXC
容量	8 ~ 256GB
スピードクラス <sup>※3</sup>	Class 10 / U1 / U3
フォーマット形式 <sup>※4</sup>	8 ~ 256GB : FAT32
	アロケーションユニットサイズ : 64KB

※1 本書では特に断りのない場合、microSDHC カード及び microSDXC カードを『SD カード』と表記しています。

※2 他社製の SD カードをご使用頂いた場合、正しく動作しないことがあります。

※3 スピードクラスとは、連続書き込みに関する速度の規格です。

※4 他社製の SD カードをはじめてご使用される場合は、必ず本品でフォーマットをおこなってください。また、SD カードを本品ではじめて使用されるときに、本品のインジケータが異常表示をすることがあります。SD カードのフォーマット方法は、本書の『SD カードをフォーマットする』(39 ページ)を参照してください。

## ●SDカードの安全上の注意



警告

- ・子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ・分解や改造はしないでください。機器の破損、火災、故障の原因となります。
- ・曲げたり、強い力を加えたり、落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。火災、火傷、故障の原因となります。
- ・異常な音や異臭がしたり、異常な発熱や発煙が見られた場合は、直ちに使用を中止し、本品の電源コード(赤)を外してください。火災、火傷、故障の原因となります。

## ●SDカードの取り扱いに関する注意



注意

- ・フォーマットする前に必要なファイルのバックアップをおこなってください。フォーマットをおこなうと、ファイルはすべて消去されます。
- ・濡れた状態で、SD カードの出し入れはおこなわないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・SD カードの出し入れは、使用する機器の説明書の指示に従って、おこなってください。故障、ファイル破損の原因となります。
- ・PC に SD カードを接続するときは、SD カードの規格に適合したカードリーダーライターをご使用ください。故障、ファイル破損の原因となります。
- ・ドライブレコーダーは、繰り返し上書きをおこなうため、SD カードのフォーマットを定期的におこなってください。
- ・SD カードを Windows PC 以外の機器に挿入や接続すると、自動的にフォルダやファイルが作成されることがあります。SD カード内に『EDR\_MotoDR』フォルダ以外のフォルダやファイルが存在すると誤作動の原因となります。必ず、ご使用前に削除するか、本品でフォーマットをおこなってから、ご使用ください。
- ・SD カードは、消耗品です。正しくフォーマット出来ない場合、交換をしてください。



## ■ 専用スマートフォンアプリ「Moto DR」について

本品をご使用頂くには、スマートフォン及び専用スマートフォンアプリ『Moto DR』（無料）が必要です。

下記の二次元コードからアクセスして、スマートフォンにインストールしてください。  
※インストールに伴う通信料は、お客様のご負担となります。

iPhone の方はこちら



Android の方はこちら



※App Store(iOS) または Google Play (Android) の公式アプリストアの検索画面から「Moto DR」と入力し、検索してインストールすることも出来ます。

専用スマートフォンアプリ『Moto DR』の使用方法等、詳細については、下記URL または二次元コードから、ご確認頂けます。

[https://www.mskw.co.jp/pdf/edr\\_howtomotodr.pdf](https://www.mskw.co.jp/pdf/edr_howtomotodr.pdf)



## ■ 専用 PC ソフト「Moto DR Player」について

専用 PC ソフト『Moto DR Player』は、下記 URL からダウンロードしてください。  
<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>

専用 PC ソフト『Moto DR Player』の使用方法等、詳細については、下記 URL または二次元コードから、ご確認頂けます。

[https://www.mskw.co.jp/pdf/edr\\_howtodrplayer.pdf](https://www.mskw.co.jp/pdf/edr_howtodrplayer.pdf)



### ● 専用PCソフト「Moto DR Player」の動作システム要件 2022年3月現在

- OS : Microsoft Windows 10 Version 1809 以降  
(64bit 版のみご使用頂けます)
- CPU : Intel Core i3 3.0GHz 相当以上
- メモリ : 4GB 以上
- GPUメモリ : 1GB 以上
- モニタ : 1280 × 1024pixel 以上
- その他 : ・ microSDHC、microSDXC に対応した microSD カードスロット  
SD カードアダプターを使用する場合は、SDHC、SDXC に対応した SD カードスロットまたは USB 接続の microSD/SD カードリーダーライター  
・ インターネット接続環境(EDR-22G を使用し、地図表示する場合)

※ 上記システム要件を満足する、すべての PC での動作を保証するものではありません。

※ ご使用の PC 環境によっては、一部の機能が動作しなかったり、表示や再生が正しくおこなわれない場合があります。

# ■ 専用スマートフォンアプリ / PC ソフトで出来ること

※ アプリ及びソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。

	専用スマートフォンアプリ Moto DR	専用 Windows PC ソフト Moto DR Player
<b>■ 本体機能操作と設定操作</b>		
● カメラ撮影角度の確認	●	×
● SD カードのフォーマット	●	×
● 画像サイズ、画質の設定	●	●
● 音声記録の ON/OFF 設定	●	●
● 衝撃検知感度の設定	●	●
● 録画ファイルの上書き保存 ON/OFF 設定	●	●
● 時刻同期	●	×
● 無線 LAN 接続パスワードの変更	●	×
<b>■ 録画ファイル操作</b>		
<b>● 録画ファイルの再生</b>		
・ 本体 SD カード内の録画ファイルの再生	●	×
・ スマートフォンに保存した録画ファイルの再生	●	×
・ PC に接続した SD カード内の録画ファイルの再生	×	●
・ PC 内ストレージにバックアップした録画ファイルの再生	×	●
<b>● 録画ファイルの保護・保護解除</b>		
・ 録画ファイルの個別ファイル保護(上書き禁止)と保護解除	●	×
<b>● 録画ファイルのダウンロード</b>		
・ 録画ファイルをダウンロードしてスマートフォン内に保存	●	×
<b>● 録画ファイルのバックアップ</b>		
・ 録画ファイルをバックアップして PC 内ストレージに保存	×	●
<b>● 走行軌跡の表示(EDR-22G 使用時のみ)</b>		
・ 再生時に自車位置と走行軌跡の地図表示	●	●
<b>● 走行速度の表示(EDR-22G 使用時のみ)</b>		
・ GPS の測位データから再生時の走行速度の目安表示	×	●



## ■ 録画 / 録音設定項目一覧

本品で設定可能な録画/録音の項目は、下記の通りです。

- 設定の変更は、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」または専用 PC ソフト「Moto DR Player」からおこなうことができます。

項目	設定 (★印は初期値です)	説明
画像サイズ	★1080P FHD 720P HD VGA <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">             ↑ 高い 鮮明度 ↓ 低い           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録解像度を設定します。</li> <li>・画像サイズを上げると、鮮明さは優れますが、録画可能な時間は少なくなります。</li> <li>・画像サイズを下げると、鮮明さは劣りますが、録画可能な時間は多くなります。</li> </ul>
画質	★HIGH MID LOW <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">             ↑ 少ない ブロック ノイズ ↓ 多い           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画質を設定します。</li> <li>・画質を上げると、ブロックノイズが目立ちにくくなり、発色が優れますが、録画可能時間は少なくなります。</li> <li>・画質を下げると、ブロックノイズが目立ちやすくなり、発色が劣りますが、録画可能な時間は多くなります。</li> </ul>
衝撃検知感度	LEVEL5 LEVEL4 ★LEVEL3 LEVEL2 LEVEL1 OFF <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;">             ↑ 鈍感 感度 ↓ 敏感           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衝撃によるイベント録画の検知感度を設定します。</li> <li>・感度は数値が大きくなると鈍感になり、小さくなると敏感になります。</li> <li>※車両の特性、本体の取付状況に合わせて設定してください。</li> </ul>
音声記録	★ON OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声記録の ON/OFF を設定します。</li> </ul>
上書き保存 (常時)	<重要> OFF に設定し、容量の上限に達すると、常時録画が停止します。常時録画が停止すると衝撃、手動の録画も出来なくなります。 ★ON OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル上書きの ON/OFF を設定します。</li> <li>・ON に設定すると、割り当てられた録画容量の上限に達したとき、古い録画ファイルから順に上書きします。</li> <li>・OFF に設定すると、割り当てられた録画容量の上限に達しても、ファイルは上書きされません。</li> </ul>
上書き保存 (衝撃 / 手動)	★ON OFF	

# 録画時間の目安

各設定値による録画時間の目安は、下記の通りです。

SDカード 容量	ファイル区分	画像サイズ(画質：HIGH)		
		1080P FHD	720P HD	VGA
16GB	常時録画	1時間 8分	1時間 40分	2時間 52分
	衝撃・手動録画	17分	25分	43分
32GB	常時録画	2時間 16分	3時間 24分	5時間 44分
	衝撃・手動録画	34分	51分	1時間 26分
64GB	常時録画	4時間 24分	6時間 40分	11時間 12分
	衝撃・手動録画	1時間 6分	1時間 40分	2時間 48分
128GB	常時録画	8時間 52分	13時間 20分	22時間 28分
	衝撃・手動録画	2時間 13分	3時間 20分	5時間 37分
256GB	常時録画	17時間 56分	26時間 56分	45時間 20分
	衝撃・手動録画	4時間 29分	6時間 44分	11時間 20分

SDカード 容量	ファイル区分	画像サイズ(画質：MID)		
		1080P FHD	720P HD	VGA
16GB	常時録画	1時間 24分	2時間 4分	3時間 28分
	衝撃・手動録画	21分	31分	52分
32GB	常時録画	2時間 48分	4時間 12分	7時間 0分
	衝撃・手動録画	42分	1時間 3分	1時間 45分
64GB	常時録画	5時間 28分	8時間 12分	13時間 40分
	衝撃・手動録画	1時間 22分	2時間 3分	3時間 25分
128GB	常時録画	11時間 0分	16時間 24分	27時間 24分
	衝撃・手動録画	2時間 45分	4時間 6分	6時間 51分
256GB	常時録画	22時間 16分	33時間 8分	55時間 16分
	衝撃・手動録画	5時間 34分	8時間 17分	13時間 49分

SDカード 容量	ファイル区分	画像サイズ(画質：LOW)		
		1080P FHD	720P HD	VGA
16GB	常時録画	1時間 48分	2時間 44分	4時間 28分
	衝撃・手動録画	27分	41分	1時間 7分
32GB	常時録画	3時間 40分	5時間 28分	9時間 0分
	衝撃・手動録画	55分	1時間 22分	2時間 15分
64GB	常時録画	7時間 12分	10時間 40分	17時間 32分
	衝撃・手動録画	1時間 48分	2時間 40分	4時間 23分
128GB	常時録画	14時間 24分	21時間 28分	35時間 8分
	衝撃・手動録画	3時間 36分	5時間 22分	8時間 47分
256GB	常時録画	29時間 4分	43時間 20分	70時間 52分
	衝撃・手動録画	7時間 16分	10時間 50分	17時間 43分

- ※ 時間は目安であり、録画時間を保証するものではありません。
- ※ 被写体や周囲の環境などの要因により、録画時間は変化します。

# ■ 主な仕様

※ 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## ● 本体

・外形寸法	85mm(W) × 62mm(D) × 21mm(H) 突起部除く
・質量	EDR-22G : 223g / EDR-22 : 208g
・防塵・防水性	IP66・67
・Gセンサー	有
・マイク	有
・無線LAN	2.4GHz帯 IEEE802.11b/g/n
・記憶媒体	microSDHCカード・microSDXCカード
・電源電圧	DC12V(バッテリー搭載車専用)
・消費電流	録画時：約0.35A / 暗電流：約0.05mA(共にバッテリー電圧12V、常温時)
・動作温度範囲	-20～70℃
・保存温度範囲	-25～85℃

## ● カメラ (フロント・リア)

・外形寸法	Φ27mm(W) × 43mm(D) 突起部除く
・質量	79g(ケーブル長：0.9m)/94g(ケーブル長：1.4m)
・防塵・防水性	IP66・67
・撮像素子	CMOSイメージセンサー 200万画素
・レンズ画角	対角162° (水平137.4° 垂直73.6°)
・フレームレート	27.5fps
・F値	1.8
・最低被写体照度	1lux
・動作温度範囲	-20～60℃
・保存温度範囲	-25～85℃

## ● GPS ※EDR-22Gのみ

・外形寸法	33mm(W) × 43.7mm(D) × 13.5mm(H) 突起部除く
・質量	60g
・防塵・防水性	IP66・67
・動作温度範囲	-20～70℃
・保存温度範囲	-25～85℃

## ● スイッチ

・外形寸法	23mm(W) × 35mm(D) × 9.5mm (H) 突起部除く
・質量	41g
・防塵・防水性	IP66・67
・動作温度範囲	-20～70℃
・保存温度範囲	-25～85℃

## ● 電源ユニット

・外形寸法	74mm(W) × 26mm(D) × 24mm (H) 突起部除く
・質量	67g
・防塵・防水性	IP66・67
・動作温度範囲	-20～70℃
・保存温度範囲	-25～85℃

## ■ 主な仕様(つづき)

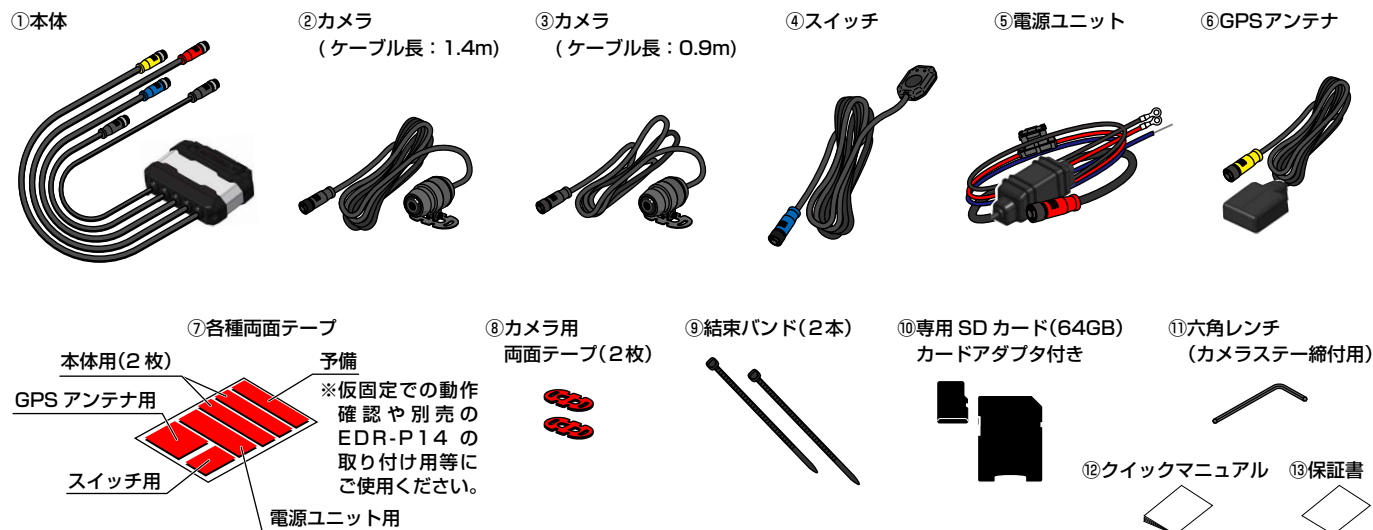
※ 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

### ● システム

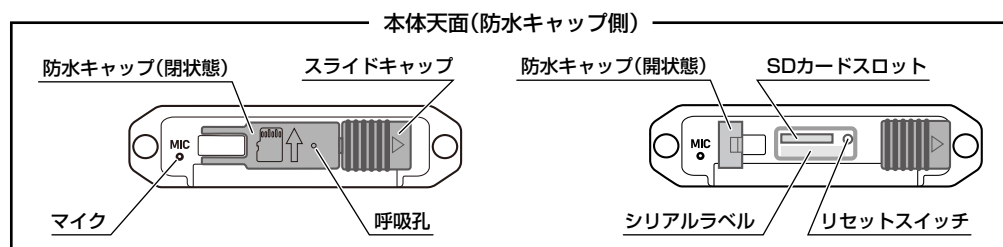
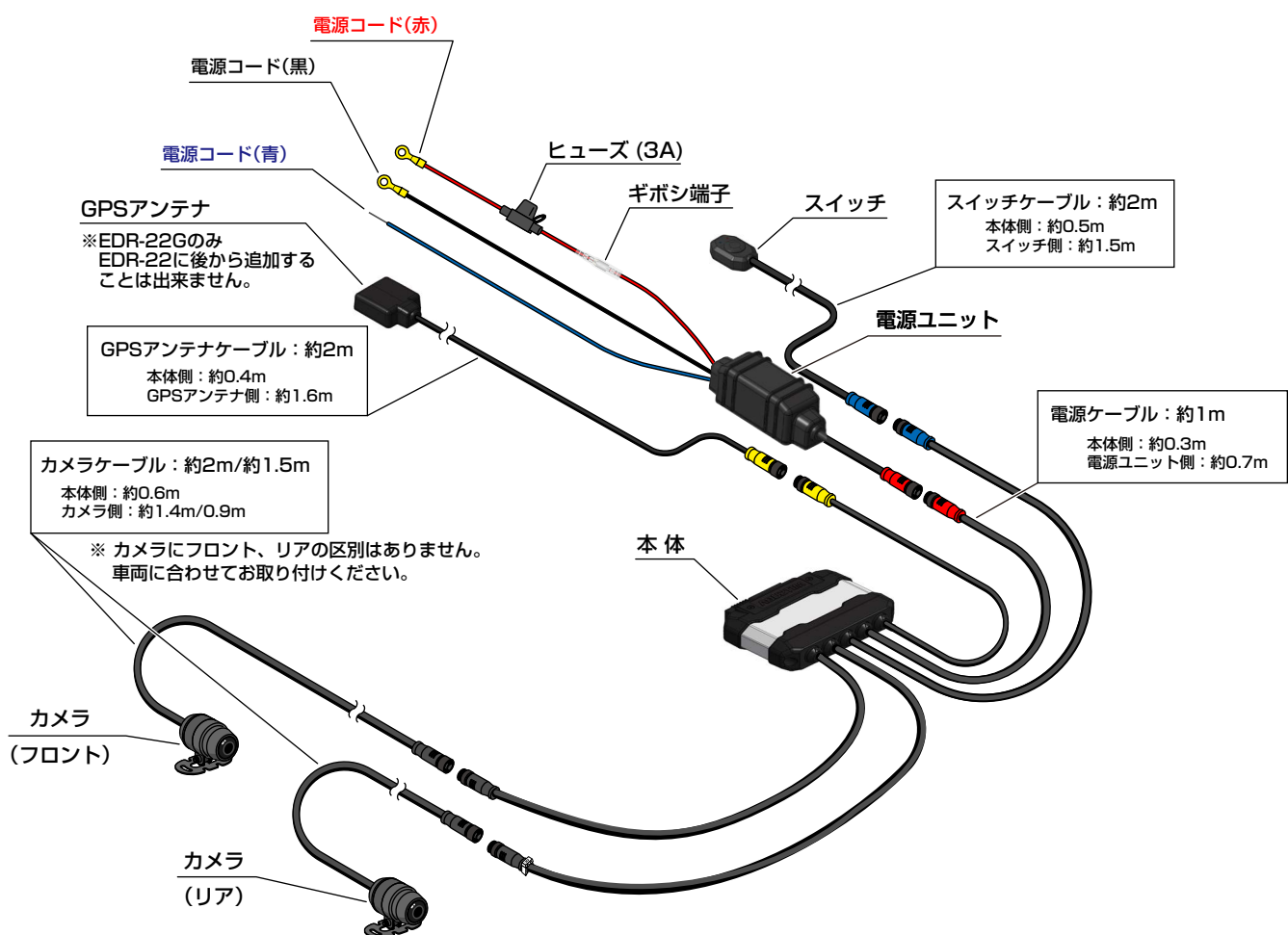
- ・ 画像サイズ 1920 × 1080P(1080P) / 1280 × 720P(720P) / 640 × 480(VGA)
- ・ 画質 HIGH / MID / LOW
- ・ 音声 モノラル 16kHz  
ON / OFF 選択可能
- ・ ファイル形式 MP4
- ・ コーデック 動画 H.264  
音声 AAC
- ・ 基本ファイル構成 30秒 / 1ファイル
- ・ 記録方式 常時録画、イベント録画(衝撃録画・手動録画)
- ・ 記録データ 動画、音声、日時、加速度、位置情報 ※EDR-22Gのみ
- ・ WDR 有(自動)
- ・ 色調補正 有(自動)

# EDR-22G 構成部品

お取り付けの前に、すべての部品が揃っているか確認してください。



# EDR-22G 各部の名称・他

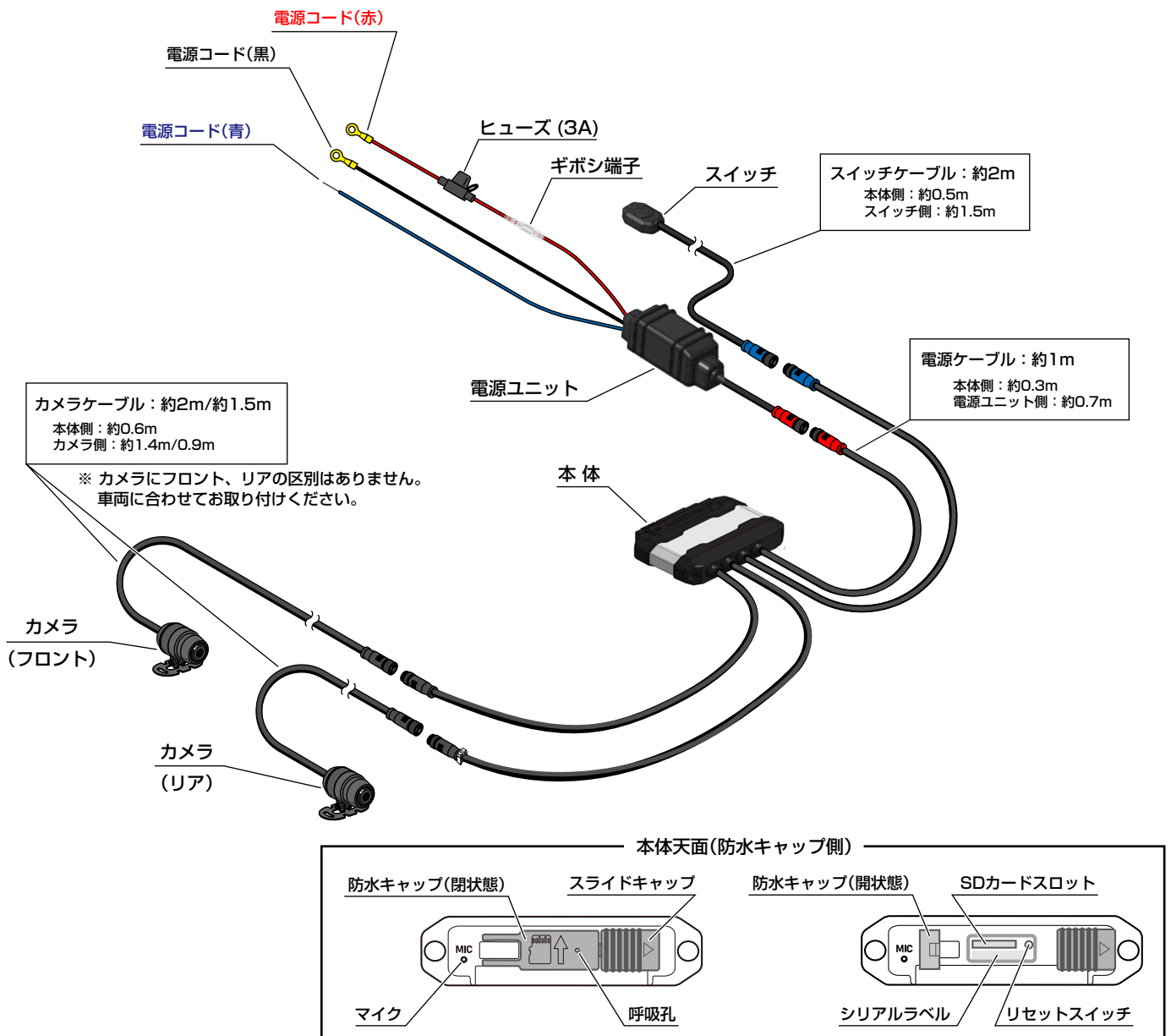


# EDR-22 構成部品

お取り付けの前に、すべての部品が揃っているか確認してください。



# EDR-22 各部の名称・他





# ■ 取り付け方法

## ● 取り付け上の注意

お取り付けの前に、この「取り付け上の注意」をよくお読み頂き、正しくお取り付けください。



警告

- ・本品を車両に取り付ける際は、必ずエンジンキーを抜き、不用意にエンジンがかからない状態で作業をおこなってください。重大な事故の原因となります。
- ・ケーブル類は、下記事項に注意して配線し、ビニールテープや結束バンド等で脱落しないように固定してください。部品の脱落、火災、事故、故障の原因となります。
  - ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
  - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
  - ・車両の可動部等への挟み込みや接触をさせない。
  - ・走行中に無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
  - ・車両部品取り付け時に挟み込まない。
- ・本品の取り付けは、運転操作や視界の妨げにならない場所、車両の各機能の妨げにならない場所に取り付けてください。事故、故障の原因となります。
- ・両面テープを貼り付ける際は、貼り付け面の油分や汚れを取り除くため、無水アルコール等でよく拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。部品の脱落、事故、故障の原因となります。
- ・本品は、車両の全長及び全幅を超えない場所に取り付けてください。
- ・本品は、車両の全高に対し、保安基準で定められた範囲(±4 cm)を超えない場所に取り付けてください。



注意

- ・本体は、金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に固定しないでください。無線 LAN の通信状態が悪化する恐れがあります。
- ・本品は、エンジン周辺等、高温になる場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- ・必ず、本品の電源ユニットを使用して車両へ接続してください。不動作、故障の原因となります。
- ・本品ケーブルの中継コネクタ金属部分が、バッテリーのプラス端子に接触しないように注意してください。ショートによる火災や火傷、本品及び車両故障の原因となります。
- ・本品ケーブルの中継コネクタ内部にドライバーなどの金属を接触させたり、異物を入れないでください。火災、故障の原因となります。
- ・本品のケーブルは、説明書の指示に従い正しく接続してください。火災、故障の原因となります。
- ・本体、電源ユニット、各ケーブルをシート下に取り付ける際は、乗車によるシートのたわみ等で圧迫されないように取り付けてください。ショートによる火災、断線や破損による故障の原因となります。
- ・テスターで電圧を確認する場合を除き、安全のためバッテリーケーブルを外して作業をおこなってください。火災、故障の原因となります。  
バッテリーケーブルの外し方については、車両のメーター内にエラー(自己診断エラー)が表示される場合がありますので、車両の取扱説明書をお読み頂くか、車両メーカーにご確認ください。
- ・本品ケーブルの中継コネクタを外すときは、コネクタのロックナットを緩め、コネクタ本体を持って外してください。断線、破損、故障の原因となります。
- ・両面テープの貼り直しは、おこなわないでください。部品の脱落、事故、故障の原因となります。貼り直す場合は、必ず新しい両面テープに交換し、取り付けてください。

# ■ 取り付け方法 (つづき)

## ● 取り付け手順

### 1. 各部位の取り付け位置を決める

#### ● 各部位の取り付け位置を決めます。

※ 必要に応じ、車両の部品(シート等)を取り外してください。

### 2. 車両側の部品取り付け場所を清掃する

#### ● 両面テープで貼り付ける部分の油分や汚れを取り除くため、無水アルコール等でよく拭き取ります。

※ 汚れや油分が残っていると、両面テープがはがれ、部品の脱落、事故、故障の原因となります。

### 3. 本体を車両に取り付ける

#### ● 同梱の本体用両面テープ(2枚)を本体に貼り付け、本体を車両に固定します。

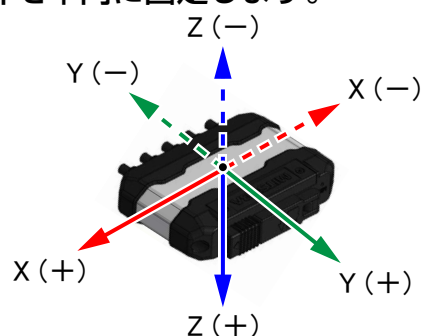
※ 本体は、金属や金属コーティングされた部品等で覆われた場所に固定しないでください。無線 LAN の通信状態が悪化する恐れがあります。

※ 本体の防水キャップの開閉、SD カードの出し入れに支障がない場所に固定してください。

※ 本体の取り付け姿勢に指定はありませんが、記録される G の方向は、本体の取り付け姿勢に従います。(右図参照)

※ 専用 PC ソフトによる G 表示は、本体の取り付け姿勢で記録された方向、数値となります。

※ 本体の固定が不十分な場合、実際の走行と G センサーで測定した値や G の方向が一致しないことがあります。



### 4. カメラ(フロント/リア)を車両に仮固定する

※ 2つのカメラは、ケーブル長のみ異なります。車両に合わせて前後を変更しても問題ありません。

#### ● 取り付け場所に合わせてカメラの角度を調整します。(カメラ調整図参照)

##### ① カメラが動かせる程度にカメラステーのねじを付属の六角レンチで緩めます。

※ ネジを緩め過ぎないでください。ネジが外れ、部品紛失の原因となります。

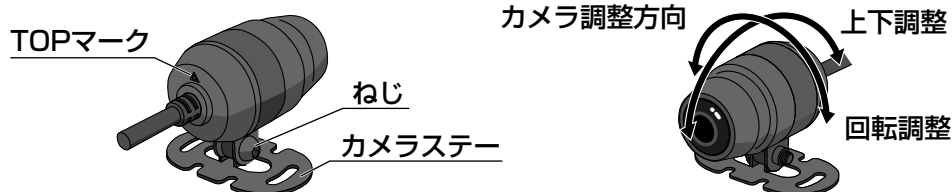
##### ② カメラ後部の TOP マーク(△)が上になるようにカメラを回転させます。

※ ケーブルにねじれがないようにしてください。故障の原因となります。

##### ③ 撮影する方向にカメラのレンズが向くように上下を調整します。

##### ④ 調整が終わったら、カメラステーのねじを締め付けて固定します。

#### ■ カメラ調整図



#### ● 車両にビニールテープ等でカメラを仮固定します。

※ カメラが車両から落下しないように仮固定してください。カメラの損傷や故障、車両損傷の原因となります。

※ カメラの本固定は、「仮固定したカメラの微調整と本固定」(19 ページ)でおこないます。

### 5. スイッチを車両に取り付ける

#### ● 同梱のスイッチ用両面テープをスイッチに貼り付け、スイッチを車両に固定します。

※ 運転操作に支障がなく、出来るだけ走行中にボタン操作をし易い場所に取り付けてください。

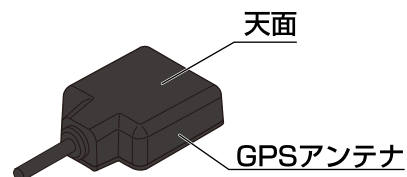
# ■ 取り付け方法 (つづき)

## ● 取り付け手順 (つづき)

### 6. GPSアンテナを車両に取り付ける EDR-22Gのみ

- 同梱の GPS アンテナ用両面テープを GPS アンテナに貼り付け、車両に固定します。

- ※ GPS アンテナは、衛星からの電波を受信し易いように天面を上に向けて取り付けてください。(右図参照)
- ※ GPS アンテナ上部が、金属や金属コーティングされた部品(チタンコートされたスクリーン)等で覆われていない場所に取り付けてください。



### 7. ケーブルの引き回し

- 各ケーブルを本体まで引き回します。

- ※ ケーブル類は、下記事項に注意して配線し、ビニールテープや結束バンド等で脱落しないように固定してください。部品の脱落、火災、事故、故障の原因となります。
  - ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
  - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
  - ・車両の可動部等への挟み込みや接触をさせない。
  - ・走行中に無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
  - ・車両部品取り付け時に噛み込まない。

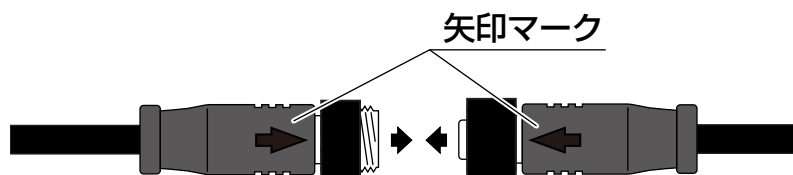
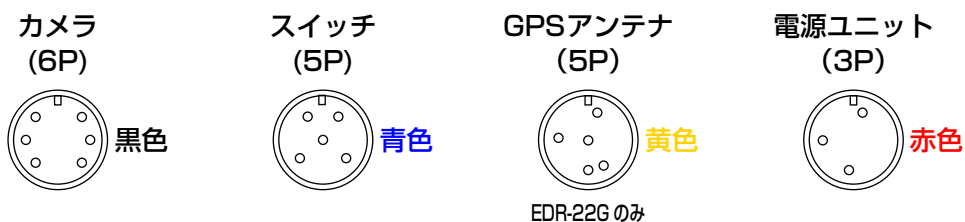
### 8. 中継コネクタを接続する

- 各ケーブルの中継コネクタを接続します。

- ① 接続するコネクタの色と PIN 配列を確認し、矢印マークの向きを合わせて接続します。

- ※ 必ず色と PIN 配列、矢印マークを合わせて接続してください。ピン曲がり、折損、動作不良の原因となります。

#### 【参考】各ケーブルの中継コネクタ PIN 配列(本体ケーブル側)



- ② 接続後、ロックナットを締め付けます。

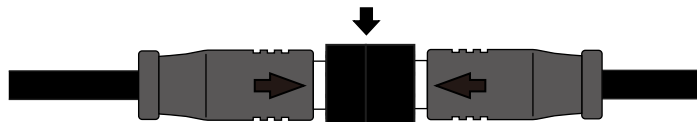
- ※ ロックナットは、工具を使用せずに手で締め付けてください。



# ■ 取り付け方法 (つづき)

## ● 取り付け手順 (つづき)

※ ロックナットとロックナットの間隙がないように確実に締め付けてください。



※ コネクターを外すときは、ロックナットを緩め、コネクター本体を持って取り外してください。断線、破損、故障の原因となります。

※ 本品ケーブルの中継コネクター金属部分が、バッテリーのプラス端子に接触しないように注意してください。ショートによる火災や火傷、本品及び車両故障の原因となります。

## 9. 電源ユニットの取り付け

### ● 電源ユニットの各コードを車両に接続します。

※ 電源コードは、3本すべてを接続しないと動作しません。必ず、接続してください。

#### ① 電源コード(赤)の丸端子をバッテリーのプラス端子に接続してください。

※ 設定した時刻を保持するために常時電源への接続が必要です。

※ 車両のバッテリー端子を外す際は、車両のメーター内にエラー(自己診断エラー)が表示されることがありますので、車両の取扱説明書をお読み頂くか、車両メーカーにご確認ください。

※ ヒューズボックスは、非防水です。水のかからない場所に設置してください。

#### ② 電源コード(青)を車両のイグニッションキーが ON のときに 12V、OFF のときに 0V となる線に接続してください。

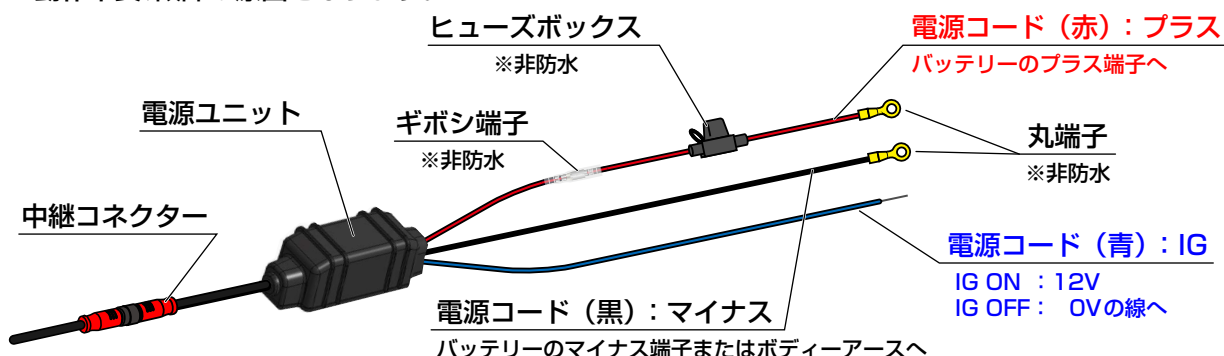
※ 接触不良が起こらないように半田付け等で確実に接続してください。動作不良、故障の原因となります。

※ イグニッションキーを OFF 後、すぐに電圧が 0V にならない場合、本体の電源が OFF するまでに時間がかかります。

#### ③ ②で接続した部分をビニールテープ等で絶縁、防水処理します。

#### ④ 電源コード(黒)の丸端子をバッテリーのマイナス端子またはボディーアースへ接続してください。

※ ボディーアースへ接続する際は、車両メーカーにご確認頂き、指定のアースポイントに接続してください。動作不良、故障の原因となります。



### ● 電源ユニットに同梱の電源ユニット用両面テープを貼り付け、シート下等のスペースに固定します

※ 不安定な固定は、断線等の原因となります。

※ 運転操作や可動部分に支障がないように固定してください。また、車両から取り外した部品(シート等)を取り付ける際に、挟み込みなどでケーブルを傷付けないようにしてください。断線、火災、動作不良の原因となります。

# ■ 取り付け方法 (つづき)

## ● 取り付け手順 (つづき)

### 10. 仮固定したカメラの微調整と本固定

- ① 専用スマートフォンアプリでカメラ撮影映像を確認しながら、車両に仮固定したカメラの微調整をおこないます。
  - ※ カメラ撮影映像の確認方法は、「取り付け後の初期設定」(20～25ページ)を参照してください。
- ② 微調整が終了したら、カメラステーに同梱のカメラ用両面テープを貼り付け、カメラを車両に本固定します。
  - ※ 走行中にカメラステーのねじが緩むことのないように締め付けてください。
  - ※ カメラステーのねじに緩みがないか、定期的に点検をおこなってください。ねじが外れると、カメラが脱落し、運転が妨げられたり、車両の故障や事故の原因となります。
- ③ カメラのレンズに貼られている保護フィルムをはがします。

### 11. カメラケーブルの固定

- ① 結束バンドやビニールテープ等を使用し、カメラに近い位置でカメラケーブルを車両に固定します。
  - ※ 万一、カメラが脱落しても、運転に支障がない位置で固定してください。

### 12. 取り外した車両部品の取り付け

- ① 車両から取り外した部品がある場合は、取り外した部品を取り付けます。
  - ※ 車両から取り外した部品(シート等)を取り付ける際に、挟み込みなどでケーブルを傷付けないようにしてください。部品の脱落、火災、事故、故障の原因となります。
- ② 車両の各種機能や動作に問題がないことを確認します。

以上で、取り付け作業は終了です。



# ■ 取り付け後の初期設定

## 1. 専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を準備する

- 下記の二次元コードからアクセスして、スマートフォンにインストールしてください。

※ インストールに伴う通信料は、お客様のご負担となります。

iPhone の方はこちら



Android の方はこちら



※ App Store(iOS) または Google Play (Android) の公式アプリストアの検索画面から「Moto DR」と入力し検索してインストールすることも出来ます。

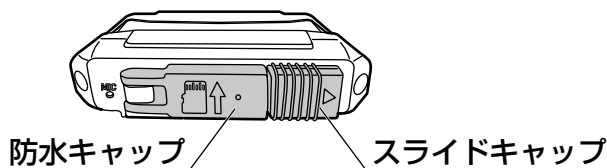
専用スマートフォンアプリ『Moto DR』の使用方法等、詳細については、下記URL または二次元コードから、ご確認ください。

[https://www.mskw.co.jp/pdf/edr\\_howtomotodr.pdf](https://www.mskw.co.jp/pdf/edr_howtomotodr.pdf)

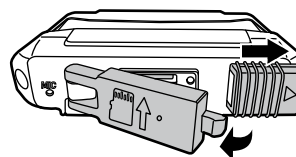


## 2. 本体に付属の SD カードを挿入する

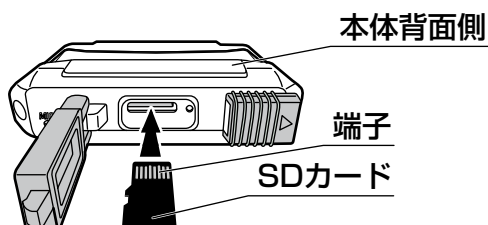
- ① 本体の電源が OFF (IG OFF) になっていることを確認します。  
※ 本体の電源が ON (IG ON) の状態で、SD カードの出し入れをしないでください。ファイルの破損、故障の原因となります。
- ② 防水キャップを抑えながらスライドキャップを外側にスライドさせ、防水キャップを開きます。



スライドして開く



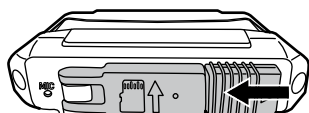
- ③ SD カードの端子側が本体背面方向となるように『カチッ』と音がするまで挿入します。  
※ 防水キャップ表面に SD カードの挿入向きが記載されています。



※ SD カードを抜くときは、SD カードを「カチッ」と音がするまで軽く押し込み、ゆっくり指を離すと SD カードを取り出せます。押し込んだ後に素早く指を離すと、SD カードが飛び出すことがありますので、注意してください。

- ④ 防水キャップを閉じます。
- ⑤ 防水キャップを抑えながらスライドキャップを内側にスライドさせ、ロックします。  
※ スライドキャップが、「カチッ」と音がするまでスライドさせてください。浸水、故障の原因となります。

スライドしてロックする



※ 本体と防水キャップの間に異物(砂、髪の毛等)が挟まった状態で、固定しないでください。浸水、故障の原因となります。

※ 防水キャップにある呼吸孔へ棒状のものを挿し込んだり、呼吸孔をふさがないでください。浸水、故障の原因となります。

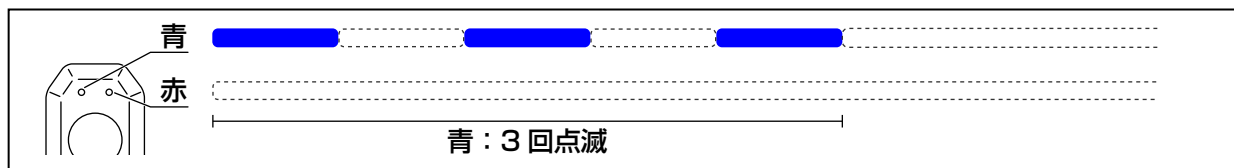


# ■ 取り付け後の初期設定 (つづき)

## 3. スマートフォンと本体を無線LANで接続する

- ① 車両のイグニッションキーをIG ONにすると、本体の電源がONになります。
- ② 電源がONになると、数秒後に本体のシステムチェックが実行されます。  
システムチェック中のインジケータは、下記パターンで点灯します。

### ●システムチェック中のインジケータ点灯パターン

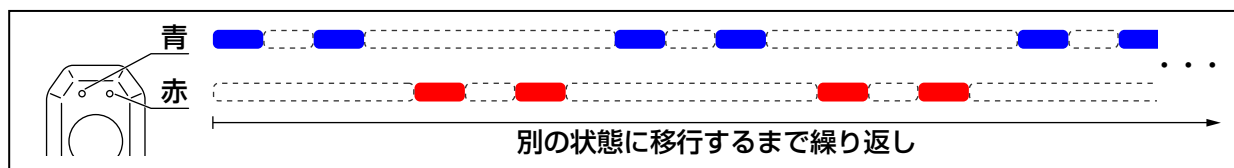


■：点灯 / (---)：消灯

- ※ 取り付け後、初めて本体の電源を ON した場合や前回の電源 ON から期間が経った場合など、電源 ON からシステムチェックが開始されるまで、20 秒ほどかかることがあります。
- ※ システムチェックにより異常があった場合、インジケータで本体の異常を表示します。  
その場合には、「インジケータ表示一覧」(29～31 ページ)と「こんなときは-Q&A-」(49～51 ページ)を確認し、異常原因の処置をおこなってください。

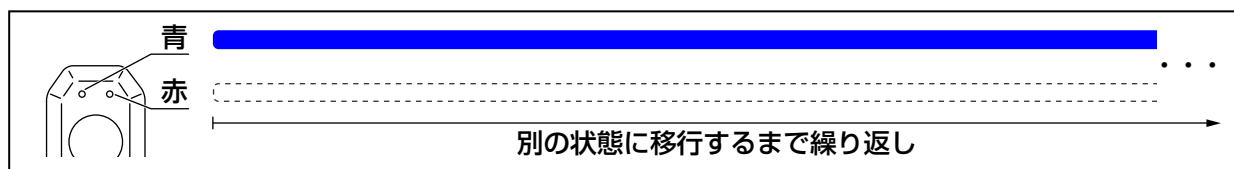
- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期／非同期状態で点灯パターンが異なります。

### ●常時録画中(時刻非同期状態)



■：点灯 / (---)：消灯

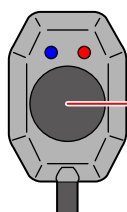
### ●常時録画中(時刻同期状態)



■：点灯 / (---)：消灯

## ■ 取り付け後の初期設定（つづき）

- ④ スイッチのボタンを**長押し(3秒以上)**し、無線 LAN モードにします。

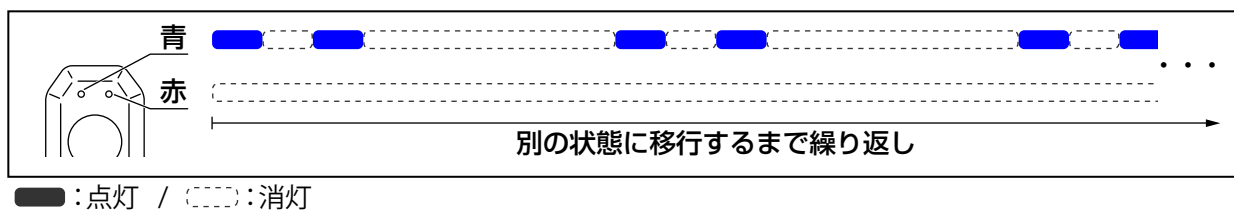


長押し(3秒以上)

※ ボタンを押す時間が短い場合、短押しとなり手動録画(青点滅)が開始されます。  
常時録画状態になってから、もう一度ボタンを**長押し(3秒以上)**してください。

- ⑤ 無線 LAN モード(接続待機中)になると、下記パターンでインジケーターが点灯します。

### ●無線 LAN モード(接続待機中)のインジケーター点灯パターン



**注意** ・無線 LAN モード中は、録画を停止します。

- ⑥ スマートフォン本体の設定から、スマートフォンの無線 LAN を ON にします。

※ スマートフォンの各種操作については、お使いのスマートフォンの取扱説明書に従い、操作してください。

- ⑦ スマートフォンに表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxxx]を選択します。

※ 「xxxx・・・」は、EDR 本体固有の英数字です。

- ⑧ パスワードを入力します。

**パスワード : 12345678 《初期値》**

※ スマートフォンの機種により、接続後にインターネット接続がない旨のポップアップ等が表示される場合があります。その場合、接続を維持するように設定してください。

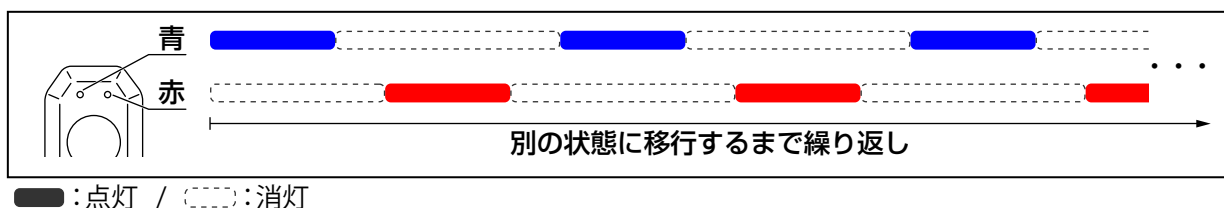
スマートフォンとの接続(無線 LAN 接続)が出来ない場合は、下記 URL または  
二次元コードから対処方法をご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>



- ⑨ スマートフォンと無線 LAN が接続されると、下記パターンでインジケーターが点灯します。

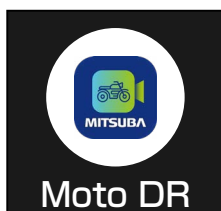
### ●無線 LAN モード(接続中)のインジケーター点灯パターン



# ■ 取り付け後の初期設定（つづき）

## 4. 時刻同期をする

- ① スマートフォンを操作し、「Moto DR」を起動します。



※ 端末によりアイコンが異なることがあります。

- ② アプリ TOP 画面の「設定」をタップします。



- ③ アプリ画面の「時刻同期」をタップします。



- ④ 本体の時刻がスマートフォンと同期されると、画面の下に「設定完了」と表示されます。



※ 本体内蔵の時計は、誤差が生じます。  
そのため、実際の時刻と録画されている時刻にズレが生じている場合があります。  
時刻ズレ防止のため、専用スマートフォンアプリで、定期的(1ヶ月に1回)に時刻同期することをおすすめします。

EDR-22G は録画開始後、GPS 電波を受信することにより自動的に時刻同期されますが、録画開始時のファイルに記録される時刻にズレが生じる場合があります。前回の走行から期間が空いた場合には、走行前に専用スマートフォンアプリで時刻同期をおこなってください。

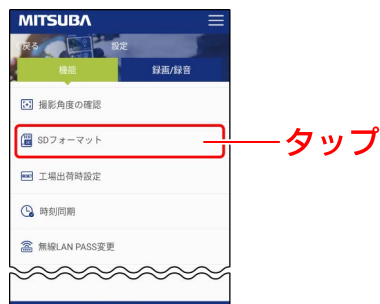
※ バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合、初期時刻(2022年1月1日)にリセットされます。再度、時刻同期をおこなってください。

# ■ 取り付け後の初期設定（つづき）

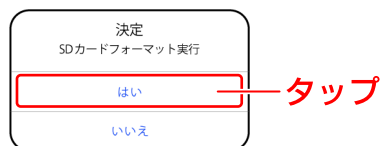
## 5. SD カードをフォーマットする

- ※ 本品同梱の SD カードまたは当社で販売する「EDR シリーズ推奨の microSD カード」を使用する場合は、既にフォーマットされていますので、この作業は不要となります。次の手順「6. カメラの撮影角度の確認とカメラの微調整をする」へお進みください。
- ※ 上記以外の SD カードをご使用の場合は、下記の手順で SD カードのフォーマットをおこなってください。

① アプリ画面の「SD フォーマット」をタップします。



② フォーマットの確認画面で、「はい」をタップします。



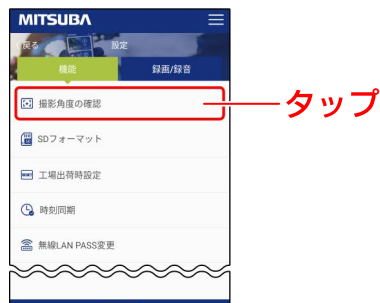
※ フォーマットをキャンセルする場合は、「いいえ」をタップします。

※ フォーマットを実行すると、SD カードに記録されているファイルは、すべて消去されます。大切なファイルは、バックアップをおこなってから、フォーマットを実行してください。

③ SD カードのフォーマットが完了すると、画面の下に「フォーマット成功」と表示されます。

## 6. カメラの撮影角度の確認とカメラの微調整をする

① アプリ画面の「撮影角度の確認」をタップすると、カメラ映像が表示されます。



② スマートフォンを横にし、映像を確認しながら、カメラの取り付け角度を微調整します。カメラの調整方法は、「カメラ(フロント/リア)を車両に仮固定する」(16 ページ)を参照してください。



※ 表示されている「×」、「リア」、「フロント」ボタン以外の画面をタップすると、ボタンの表示、非表示を切り替えることができます。

※ スマートフォンの映像は、遅れて表示されます。

③ 画面下の「リア」、「フロント」ボタンをタップすると、カメラ(フロント/リア)の表示を切り替えることができます。

④ カメラの微調整が完了したら、画面左上の「×」ボタンをタップし、「撮影角度の確認」を終了します。

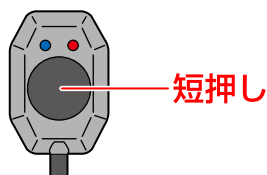
## ■ 取り付け後の初期設定（つづき）

### 7. 専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を終了する

- スマートフォンを操作し、「Moto DR」を終了します。

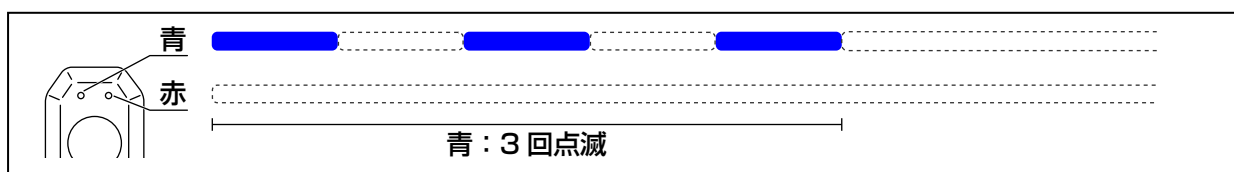
### 8. 本体の無線 LAN モードを OFF にする

- ① スイッチのボタンを短押しします。



- ② 本体の無線 LAN モードが OFF になり、インジケータが数秒間消灯後、システムチェックを開始します。インジケータは、下記パターンで点灯します。

#### ●システムチェック中のインジケータ点灯パターン

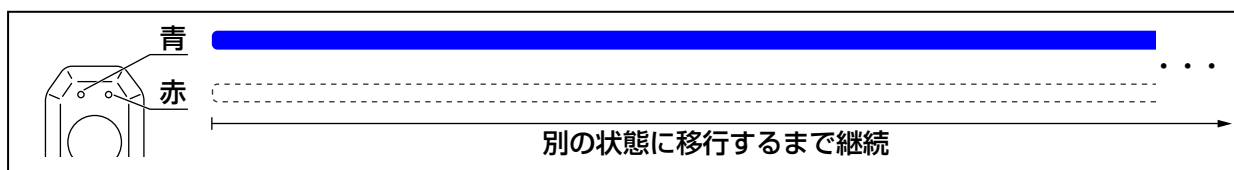


■：点灯 / (---)：消灯

- ※ システムチェックにより異常があった場合、インジケータで本体の異常を表示します。その場合には、「インジケータ表示一覧」(29～31 ページ)と「こんなときは-Q&A-」(49～51 ページ)を確認し、異常原因の処置をおこなってください。

- ③ システムチェック終了後、常時録画を開始します。インジケータは、下記パターンで点灯します。

#### ●常時録画中(時刻同期状態)

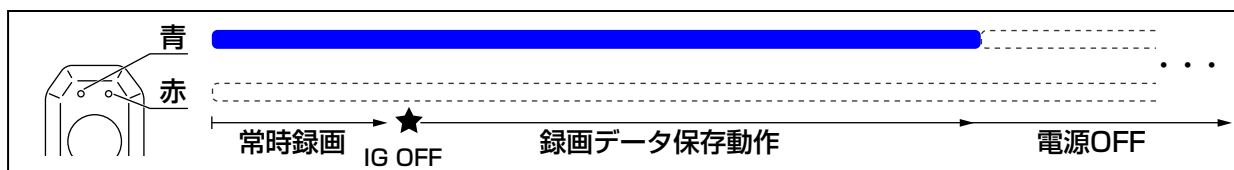


■：点灯 / (---)：消灯

### 9. 本体の電源を OFF にする

- ① 車両のイグニッションキーを OFF にします。
- ② 録画ファイルの保存動作がおこなわれ、保存動作終了後に本体の電源が OFF になります。

#### ●常時録画から電源 OFF のインジケータ点灯パターン



■：点灯 / (---)：消灯

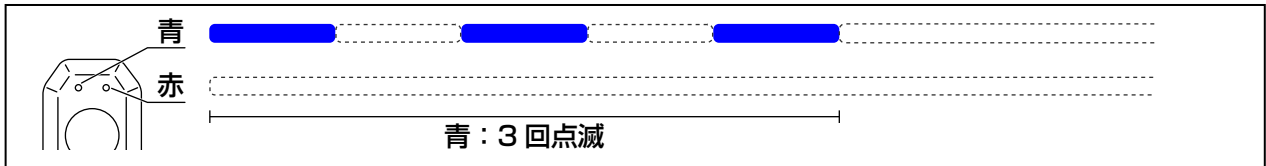
以上で、「取り付け後の初期設定」は終了です。

# ■ 使用方法

## ● 常時録画

- ① 車両のイグニッションキーを IG ON にすると、本体の電源が ON になります。
- ② 電源が ON になると、数秒後に本体のシステムチェックが実行されます。  
システムチェック中のインジケータは、下記パターンで点灯します。

### ● システムチェック中のインジケータ点灯パターン

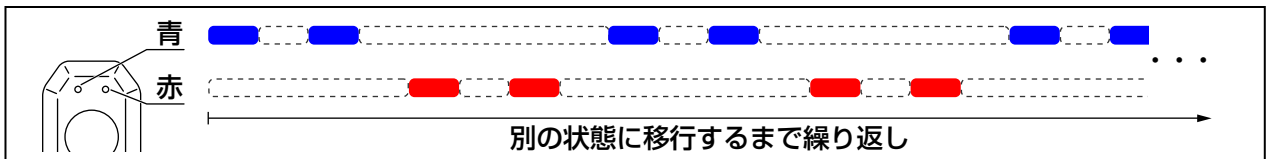


■：点灯 / ( )：消灯

- ※ 取り付け後、初めて本体の電源を ON した場合や前回の電源 ON から期間が経った場合など、電源 ON からシステムチェックが開始されるまで、20 秒ほどかかることがあります。
- ※ システムチェックにより異常があった場合、インジケータで本体の異常を表示します。  
その場合には、「インジケータ表示一覧」(29～31 ページ)と「こんなときは Q&A」(49～51 ページ)を確認し、異常原因の処置をおこなってください。

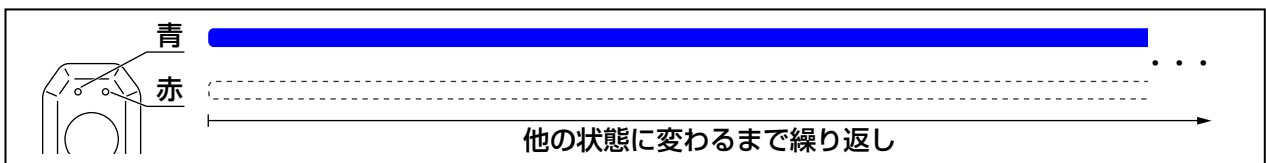
- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期／非同期状態で点灯パターンが異なります。

### ● 常時録画中（時刻非同期状態）



■：点灯 / ( )：消灯

### ● 常時録画中（時刻同期状態）



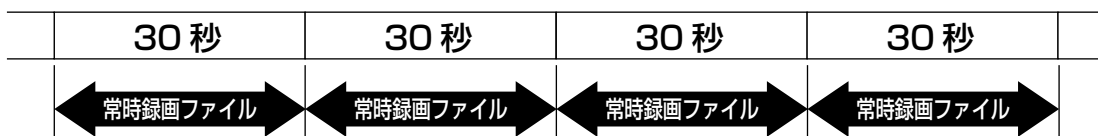
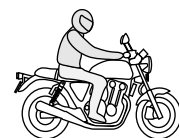
■：点灯 / ( )：消灯

- ※ 時刻非同期状態の場合は、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」を使用し、無線 LAN 接続後に時刻同期をおこなってください。時刻同期は「時刻同期させる」(42 ページ)を参照してください。
- ※ EDR-22G は、GPS 電波を受信することで、自動で時刻同期をおこないます。  
電波の受信状態によって、時刻同期出来ないことや時刻同期するまでに時間がかかる場合があります。

## ● 常時録画の保存方法について

- ◆ 1 ファイル 30 秒で録画し、常時録画ファイルとして保存します。

- ※ 録画中に無線 LAN モードへ切り替えたときや電源を OFF したときは、その時点で録画を停止するため、1 ファイルが 30 秒に満たない状態でファイル保存されます。





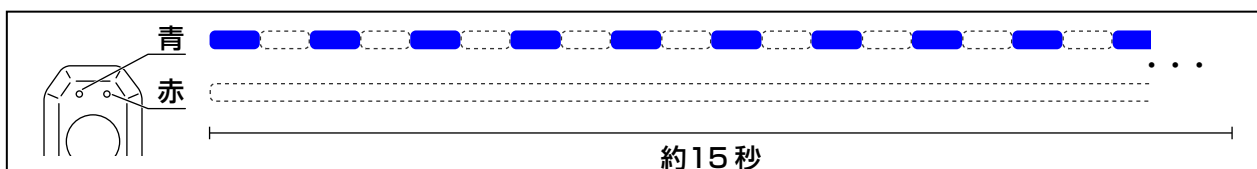
## ■ 使用方法 (つづき)

### ● イベント録画 (衝撃録画)

- ◆ 常時録画中に衝撃を検知した際、衝撃検知前後の録画ファイルを「衝撃録画ファイル」として保存する機能です。

- ① 常時録画中に設定以上の衝撃を検知したとき作動します。  
衝撃録画中のインジケータは、下記パターンで点灯します。

#### ● 衝撃録画中のインジケータ点灯パターン



■ :点灯 / (---):消灯

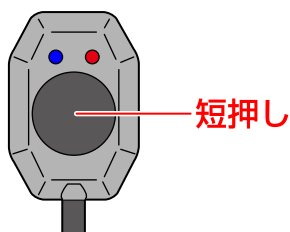
- ※ 衝撃録画中は、重複して衝撃録画及び手動録画をおこなうことは出来ません。  
手動録画中に衝撃を検知した場合、衝撃録画ファイルとして保存します。

- ② 約 15 秒後、衝撃録画が終了し、自動で常時録画を再開します。  
※ 自動で常時録画に切り替わるため、スイッチ操作をおこなう必要はありません。  
※ イベント録画ファイルを上書き保存しているときは、最大約 20 秒点滅します。

### ● イベント録画 (手動録画)

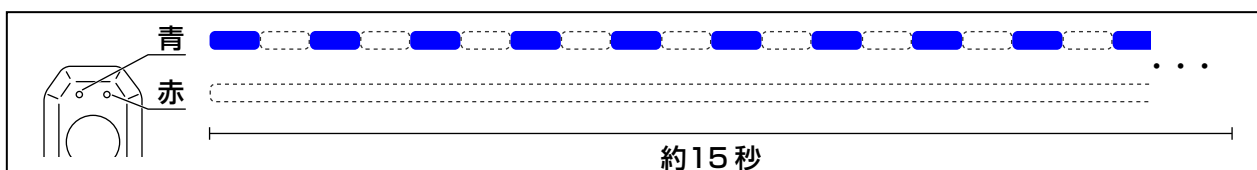
- ◆ 常時録画中に手動録画操作した際、手動録画操作前後の録画ファイルを「手動録画ファイル」として保存する機能です。

- ① 常時録画中にスイッチのボタンを **短押し** します。



- ② 手動録画を開始します。手動録画中のインジケータは、下記パターンで点灯します。

#### ● 手動録画中のインジケータ点灯パターン



■ :点灯 / (---):消灯

- ※ 衝撃録画中に手動録画をおこなうことは出来ません。  
手動録画中に衝撃を検知した場合、衝撃録画ファイルとして保存します。

- ③ 約 15 秒後、手動録画が終了し、自動で常時録画を再開します。  
※ 自動で常時録画に切り替わるため、スイッチ操作をおこなう必要はありません。  
※ イベント録画ファイルを上書き保存しているときは、最大約 20 秒点滅します。

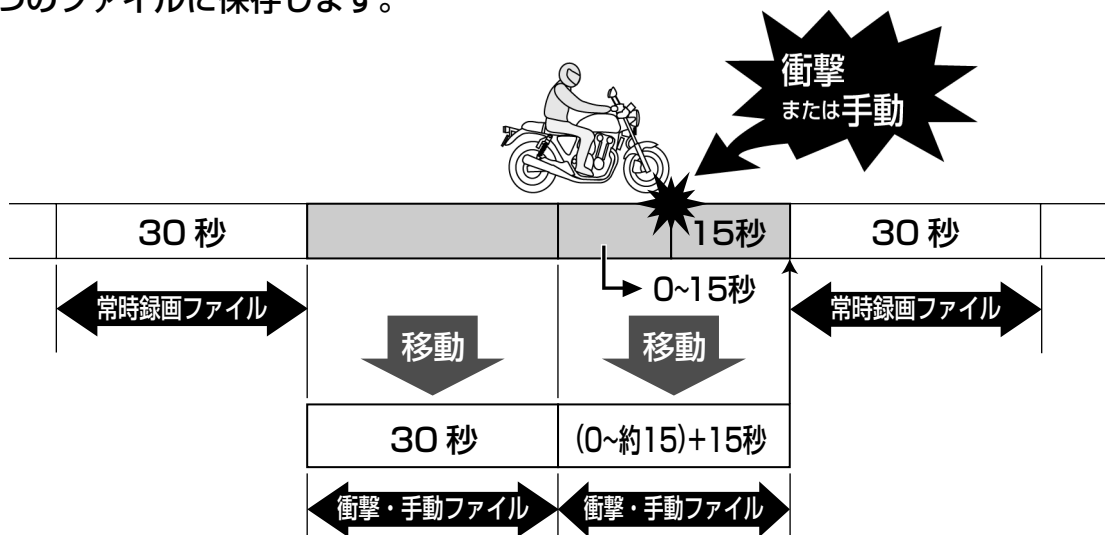
# ■ 使用方法（つづき）

## ● イベント録画（衝撃録画・手動録画）の保存方法について

- ◆ 衝撃録画及び手動録画は、イベント発生タイミングによって、ファイルの保存方法が異なります。

### CASE 1

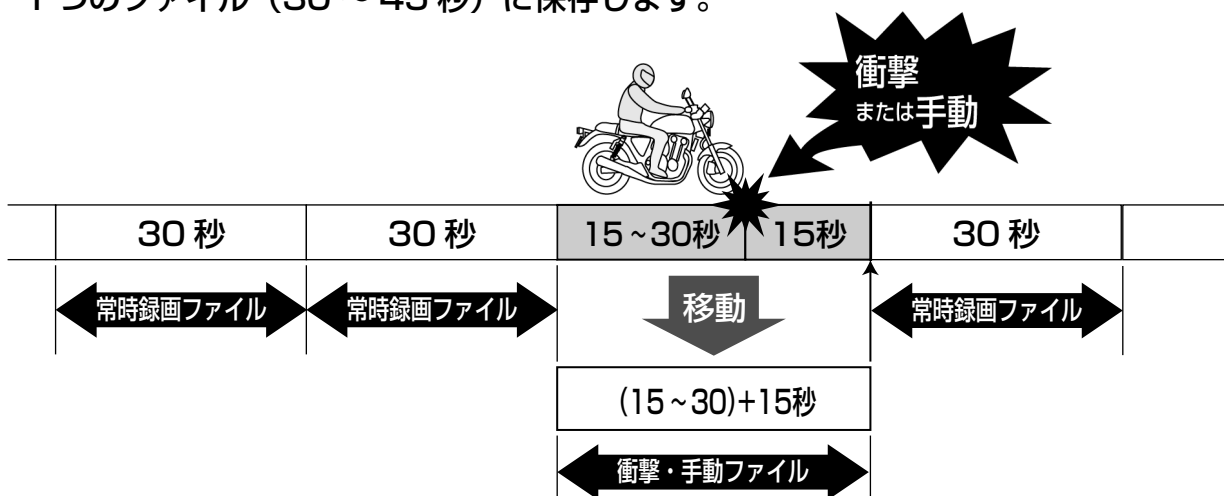
録画中ファイルの開始 15 秒未満にイベントが発生した場合、イベント発生直前の常時録画ファイル（30 秒）と録画中のファイルにイベント発生後の 15 秒間を録画（15 秒～約 30 秒）し、「衝撃録画ファイル」または「手動録画ファイル」として、2 つのファイルに保存します。



- ※ 衝撃録画及び手動録画中に電源を OFF した場合には、電源を OFF した時点で録画を停止するため、電源 OFF まで録画したファイルを保存します。
- ※ 手動録画中に衝撃を検知した場合、衝撃録画ファイルとして保存します。

### CASE 2

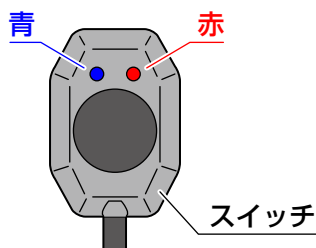
録画中ファイルの開始 15 秒以降にイベントが発生した場合、録画中のファイルとイベント発生後の 15 秒間を「衝撃録画ファイル」または「手動録画ファイル」として、1 つのファイル（30 ～ 45 秒）に保存します。



- ※ 衝撃録画及び手動録画中に電源を OFF した場合には、電源を OFF した時点で録画を停止するため、電源 OFF まで録画したファイルを保存します。
- ※ 手動録画中に衝撃を検知した場合、衝撃録画ファイルとして保存します。

# インジケータ表示一覧

インジケータの表示と表示内容について、説明します。



## ●録画停止中の状態表示

インジケータ表示	状態	備考
青 赤  周期 0.5秒周期、青点滅 時間 約3秒間	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムチェック中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源 ON 後にシステムチェックをおこないます。</li> <li>無線 LAN モード OFF 後にシステムチェックをおこないます。</li> </ul>
青 赤  周期 0.2秒周期青点滅、1秒消灯 時間 別の状態に移行するまで繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線LANモード接続待機中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンからの無線 LAN 接続を待機しています。</li> </ul>
青 赤  周期 0.5秒点灯、0.2秒消灯、赤青交互点滅 時間 別の状態に移行するまで繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線LANモード接続中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンと無線 LAN 接続しています。</li> </ul>
青 赤  周期 赤青消灯 時間 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源OFF</li> <li>システムチェックで SD カード未検出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録画は、停止しています。</li> </ul>
青 赤  周期 赤青消灯 時間 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>モード切替中(無線 LAN モードから常時録画切替時など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5~6秒消灯することがあります。</li> </ul>

## ●録画中の状態表示一覧

インジケータ表示	状態	備考
青 赤  周期 青継続点灯 時間 別の状態に移行するまで繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画中</li> <li>電源 OFF 後の録画ファイル書き込み動作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画中です。</li> <li>電源 OFF 後、しばらく点灯して消灯します。</li> </ul>
青 赤  周期 0.2秒周期、赤青交互点滅 時間 時刻同期するまで継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画中</li> <li>時刻非同期状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻は、実際の時刻と異なります。</li> <li>時刻同期が、おこなわれていない状態です。</li> </ul>
青 赤  周期 0.2秒周期、青点滅 時間 最長約20秒繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動録画中</li> <li>衝撃録画中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動録画、衝撃録画中に電源を OFF すると、青点灯後に消灯します。</li> </ul>

# インジケータ表示一覧 (つづき)

## ●異常発生時の状態表示

※ 異常が発生した場合の処置方法は、「こんなときは-Q&A-」(49～51 ページ)を参照してください。

インジケータ表示	状態	備考
<p>青 赤</p> <p>周期 0.5 秒周期、赤点滅 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDカード異常</li> <li>常時録画の容量がいっぱい ※上書き保存(常時)の設定がOFFのとき</li> <li>イベント録画(衝撃録画、手動録画)の容量がいっぱいで、全てのイベント録画ファイルが保護されている ※上書き保存(衝撃、手動)の設定がONのとき</li> <li>SD カードの残容量が実際の録画時間に対し異なるとき。(EDR以外のファイルがSDカードに書き込まれている場合など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての録画動作が出来ません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> <li>イベント録画(衝撃録画、手動録画)発生時にファイルが保存されません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> <li>録画可能な時間が少なくなります。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
<p>青 赤</p> <p>周期 青継続点灯/0.5 秒周期、赤点滅 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント録画(衝撃録画、手動録画)の容量がいっぱい ※上書き保存(衝撃、手動)の設定がOFFのとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時録画は、継続して録画しています。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
<p>青 赤</p> <p>周期 赤2連点滅、1秒消灯を3回後にシステムチェックの繰り返し 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカメラ異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての録画動作が出来ません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行出来ません。</li> </ul>
<p>青 赤</p> <p>周期 赤3連点滅、1秒消灯 時間 別の状態に移行するまで繰り返し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアカメラ異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカメラのみで録画します。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
<p>青 赤</p> <p>周期 赤4連点滅、1秒消灯 時間 別の状態に移行するまで繰り返し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS異常 (EDR-22Gのみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSの位置情報を記録せずに録画を続けます。</li> <li>無線 LAN モードへ移行することが出来ます。</li> </ul>
<p>青 赤</p> <p>周期 赤3連点滅、1秒消灯を2回、赤2連点滅、1秒消灯を2回後システムチェックの繰り返し 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントカメラ、リアカメラ異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての録画動作が出来ません。</li> <li>無線 LAN モードへ移行出来ません。</li> </ul>
<p>青 赤</p> <p>周期 赤継続点灯 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての機能を使用することが出来ません。</li> </ul>

# ■ インジケータ表示一覧 (つづき)

## ● その他の状態表示

インジケータ表示	状態	備考
青  赤   周期時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線 LAN 接続、パスワード初期化完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワード初期化表示後、初期化操作前の表示に戻ります。</li> </ul>
青  赤   周期時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS 測位完了 (EDR-22G のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源 ON 後、1 回のみ表示。</li> </ul>

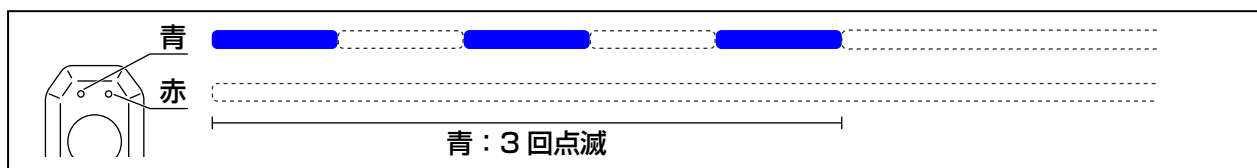
# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)

- ・ 事前にお使いのスマートフォンへ EDR 専用アプリ「Moto DR」をインストールしてください。
- ・ スマートフォンの各種操作は、お使いのスマートフォン取扱説明書をご確認ください。
- ・ 取扱説明書内のスマートフォン画面表示は、お使いの機種によって異なります。

## 1. EDR 本体を無線 LAN モードにする

- ① 車両のイグニッションキーを IG ON にし、EDR 本体の電源を ON にします。
- ② 数秒後に EDR 本体のシステムチェックが実行されます。

### ● システムチェック中のインジケータ点灯パターン

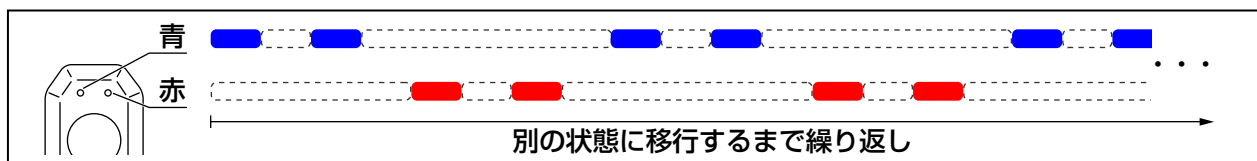


■：点灯 / □：消灯

※ 取り付け後、初めて本体の電源を ON した場合や前回の電源 ON から期間が経った場合など、電源 ON からシステムチェックが開始されるまで、20 秒ほどかかることがあります。

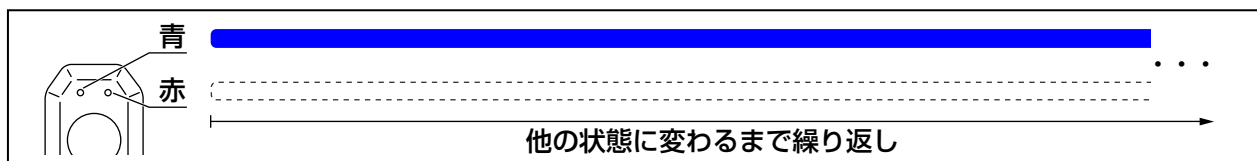
- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期／非同期状態で点灯パターンが異なります。

### ● 常時録画中（時刻非同期状態）



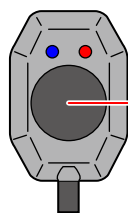
■：点灯 / □：消灯

### ● 常時録画中（時刻同期状態）



■：点灯 / □：消灯

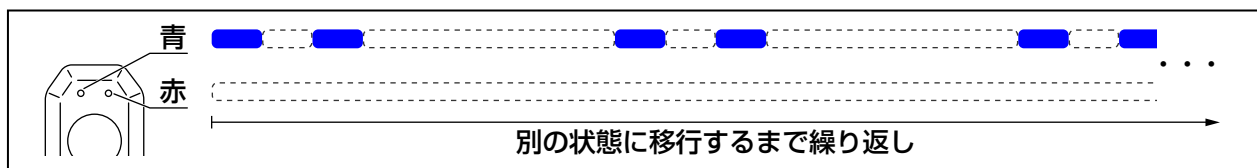
- ④ スwitchのボタンを長押し(3秒以上)し、無線 LAN モードにします。



長押し(3秒以上)

※ ボタンを押す時間が短い場合、短押しとなり手動録画(青点滅)が開始されます。  
常時録画状態になってから、もう一度ボタンを長押し(3秒以上)してください。

### ● 無線 LAN モード（接続待機中）のインジケータ点灯パターン



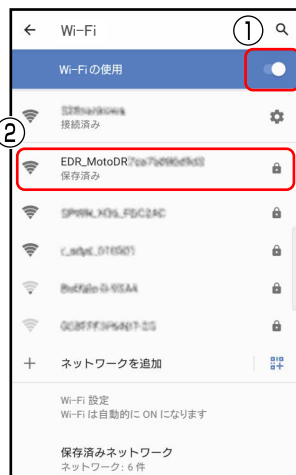
■：点灯 / □：消灯

**注意** ・無線 LAN モード中は、録画を停止します。



# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(Android)…つづき

## 2. スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する



- ① スマートフォンを操作し、設定から「無線 LAN 接続(Wi-Fi)」を ON にします。

### 補足

・スマートフォンの各種操作は、お使いのスマートフォン取扱説明書をご確認ください。

- ② スマートフォンに表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を選択します。

※ 「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」は、EDR 本体固有の英数字です。

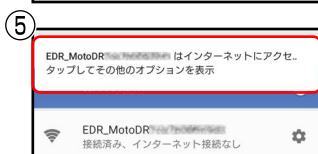


- ③ パスワードを入力します。

### 補足

・パスワード初期設定値  
「12345678」

- ④ 「接続」をタップします。



- ⑤ スマートフォン画面に左図のポップアップが表示されたら、タップします。

### 補足

・お使いのスマートフォンにより、ポップアップ表示方法や記載内容が異なる場合があります。

### 注意

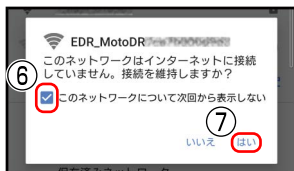
- ・ポップアップが表示されるまで、スマートフォンを操作しないでください。ポップアップが消えてしまうことがあります。
- ・ポップアップが消えてしまった場合は、EDR 本体との無線 LAN 接続情報を削除し、①の操作からやり直してください。

スマートフォンとの接続(無線 LAN 接続)が出来ない場合は、下記 URL または二次元コードから対処方法をご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>



# スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(Android)…つづき



⑥ 「次回から表示しない」をチェックします。

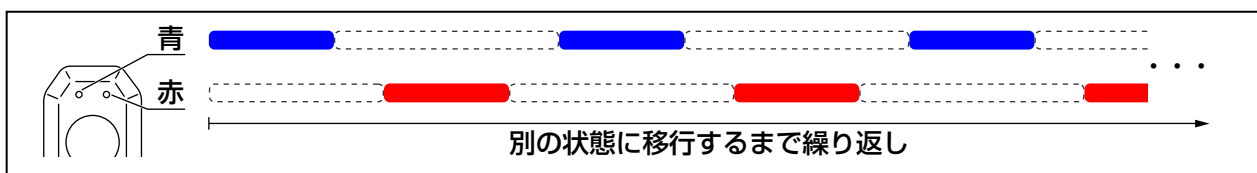
⑦ 「はい」をタップします。

## 補足

- ・「次回から表示しない」をチェックし「はい」をタップすると、次回以降は⑤～⑦の操作を省略出来ます。
- ・ポップアップやダイアログの表示内容は、機種によって異なる場合があります。この場合、EDR との接続を維持するように設定をおこなってください。

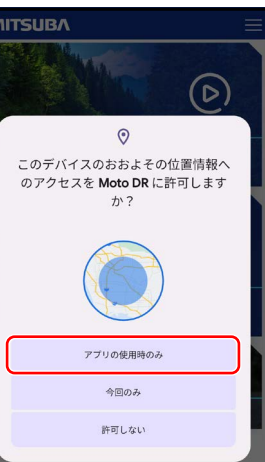
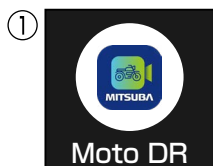
⑧ EDR 本体と無線 LAN が接続されると、インジケータが下記パターンで点灯します。

## ●無線 LAN モード（接続中）のインジケータ点灯パターン



■ : 点灯 / (---) : 消灯

## 3. 専用アプリ「Moto DR」を起動する



① スマートフォンを操作して、「Moto DR」を起動します。

※ 端末によりアイコンが異なることがあります。

② 「位置情報へのアクセス」の確認画面が表示されますので「アプリの使用時のみ」をタップして、位置情報へのアクセスを許可します。

## 注意

- ・スマートフォンの Wi-Fi 接続に必要な権限です。「許可しない」をタップした場合、「Moto DR」と接続が出来なかったり、接続が不安定になる場合があります。

③ 「メディアファイル(写真、動画、音楽、音声)へのアクセス」の確認画面が表示されますので「許可」をタップして、写真、動画、音楽、音声へのアクセスを許可します。

## 補足

- ・お使いのスマートフォンの OS バージョンが 13 以降の場合、この画面は表示されませんが、メディアファイル(写真、動画、音楽、音声)へのアクセスは自動的に許可されます。

## 注意

- ・スマートフォン内へのファイル保存操作やスマートフォン内に保存された録画ファイルの再生に必要な権限です。
- ・「許可しない」をタップした場合、スマートフォン内へのファイル保存操作やスマートフォン内に保存された録画ファイルの再生が出来ません。また、使用中に「Moto DR」が強制終了してしまう場合があります。

## ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android) …つづき



- ④ スマートフォンの画面に「EDR 本体無線 LAN 接続ガイド」が表示されますので、「スキップ」をタップして閉じます。

### 補足

- ・表示される接続ガイドは、ここで説明している内容と同じですので、スキップして閉じます。
- ・次回起動時に「EDR 本体無線 LAN 接続ガイド」を表示させたくない場合は、「次回から起動時に表示しない」をチェックします。
- ・「EDR 本体無線 LAN 接続ガイド」は、アプリ TOP 画面の「ユーザーガイド」から確認することができます。



- ⑤ TOP 画面内の「再生」または「設定」をタップします。

- ・「再生」を選択後、「常時」「衝撃」「手動」などのタブをタップした場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続完了後に録画ファイルの読み込みを開始し、アプリの画面中央に「データロード中」と表示します。読み込みが完了した時点で、録画フォルダのリストを表示します。
- ・設定を選択した場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続が完了すると、アプリ画面下部に「接続完了しました」と表示し、設定画面を表示します。

### 補足

- ・アプリの画面に「EDR 本体と接続してください」と表示された場合は、「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する」(32 ページ)から操作をやり直してください。
- ・アプリの画面に「データがありません」と表示された場合は、SD カードにデータが入っていません。
- ・録画ファイルの読み込みにかかる時間は、録画ファイルの数や通信環境によって異なります。

以上で、「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」の説明は終了です。

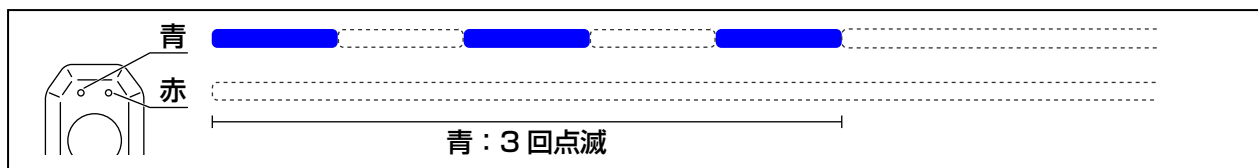
# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(iOS)

- ・ 事前にお使いのスマートフォンへ EDR 専用アプリ「Moto DR」をインストールしてください。
- ・ スマートフォンの各種操作は、お使いのスマートフォン取扱説明書をご確認ください。
- ・ 取扱説明書内のスマートフォン画面表示は、お使いの機種によって異なります。

## 1. EDR 本体を無線 LAN モードにする

- ① 車両のイグニッションキーを IG ON にし、EDR 本体の電源を ON にします。
- ② 数秒後に EDR 本体のシステムチェックが実行されます。

### ● システムチェック中のインジケータ点灯パターン

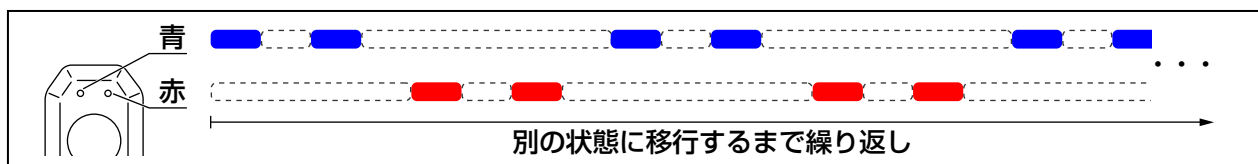


■：点灯 / □：消灯

※ 取り付け後、初めて本体の電源を ON した場合や前回の電源 ON から期間が経った場合など、電源 ON からシステムチェックが開始されるまで、20 秒ほどかかることがあります。

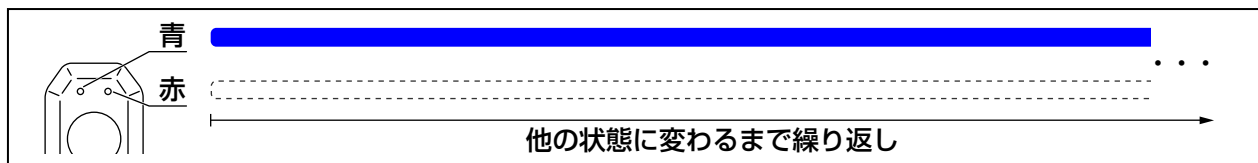
- ③ システムチェックが正常に完了すると、常時録画を開始します。  
常時録画中のインジケータは、時刻の同期／非同期状態で点灯パターンが異なります。

### ● 常時録画中（時刻非同期状態）



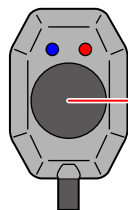
■：点灯 / □：消灯

### ● 常時録画中（時刻同期状態）



■：点灯 / □：消灯

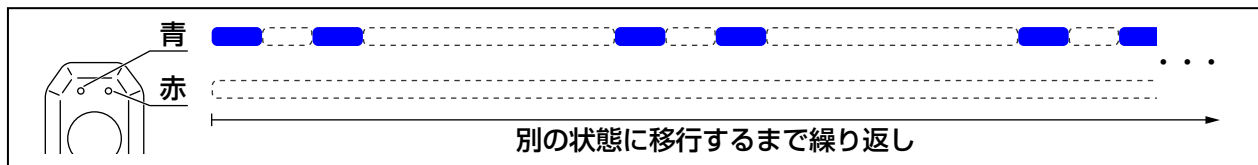
- ④ スイッチのボタンを**長押し(3秒以上)**し、無線 LAN モードにします。



長押し(3秒以上)

※ ボタンを押す時間が短い場合、短押しとなり手動録画(青点滅)が開始されます。  
常時録画状態になってから、もう一度ボタンを**長押し(3秒以上)**してください。

### ● 無線 LAN モード（接続待機中）のインジケータ点灯パターン



■：点灯 / □：消灯

**注意** ・ 無線 LAN モード中は、録画を停止します。

# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(iOS)・・・つづき

## 2. スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する



- ① スマートフォンを操作し、設定から「無線 LAN 接続(Wi-Fi)」を ON にします。

### 補足

・スマートフォンの各種操作は、お使いのスマートフォン取扱説明書をご確認ください。

- ② スマートフォンに表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を選択します。

※ 「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」は、EDR 本体固有の英数字です。



- ③ パスワードを入力します。

### 補足

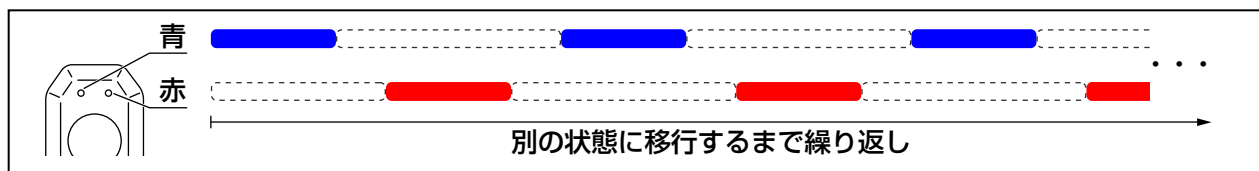
・パスワード初期設定値

**「12345678」**

- ④ 画面右上の「接続」または画面右下の「Join」をタップします。

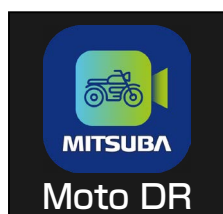
- ⑤ EDR 本体と無線 LAN が接続されると、インジケーターが下記パターンで点灯します。

### ●無線 LAN モード (接続中) のインジケーター点灯パターン



■ : 点灯 / □ : 消灯

## 3. 専用アプリ「Moto DR」を起動する



- ① スマートフォンを操作して、「Moto DR」を起動します。



# ■ スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(iOS)・・・つづき



② TOP 画面内の「再生」または「設定」をタップします。

- ・「再生」を選択後、「常時」「衝撃」「手動」などのタブをタップした場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続完了後に録画ファイルの読み込みを開始し、アプリの画面中央に「データロード中」と表示します。読み込みが完了した時点で、録画フォルダのリストを表示します。
- ・設定を選択した場合、アプリの画面中央に「接続中」と表示します。接続が完了すると、アプリ画面下部に「接続完了しました」と表示し、設定画面を表示します。

## 補足

- ・アプリの画面に「EDR 本体と接続してください」と表示された場合は、「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する」(36 ページ)から操作をやり直してください。
- ・アプリの画面に「データがありません」と表示された場合は、SD カードにデータが入っていません。
- ・録画ファイルの読み込みにかかる時間は、録画ファイルの数や通信環境によって異なります。
- ・アプリの画面中央に「"Moto DR" がローカルネットワーク上のデバイスの検索及び接続を求めています」のダイアログが表示された場合には、「許可」または「OK」をタップしてから「EDR 本体と接続」をタップしてください。



スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続することが出来ない場合は、スマートフォンの設定を機内モードにしてから Wi-Fi を ON にして、EDR 本体と無線 LAN 接続してください。無線 LAN 接続を終了した場合は、機内モードを OFF にしてください。

以上で、「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する(iOS)」の説明は終了です。

# ■ SD カードをフォーマットする

EDR 本体に挿入された SD カードのフォーマット方法について、説明します。

SD カードが EDR 本体に挿入され、スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続された状態からの説明となります。

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」… 32 ～ 35 ページ
- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」… 36 ～ 38 ページ

## 1. フォーマットのメニューを表示する



① TOP 画面から「設定」をタップします。

タップ

補足

- ・設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。

タップ

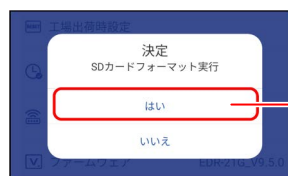


## 2. SD フォーマットを実行する



① 「SD フォーマット」をタップします。

タップ



② SD カードフォーマット実行画面で「はい」をタップします。

タップ

補足

- ・フォーマットをキャンセルする場合は、「いいえ」をタップします。
- ・SD カードのフォーマットが完了すると、画面の下に「フォーマット成功」と表示されます。

注意

- ・フォーマットを実行すると、SD カードに記録されているファイルは、すべて消去されます。大切なファイルは、バックアップをおこなってから、フォーマットを実行してください。

以上で、「SD カードをフォーマットする」の説明は終了です。

# ■ カメラの撮影映像を確認する

車両に取り付けたカメラの撮影映像を確認する方法について、説明します。

SDカードがEDR本体に挿入され、スマートフォンとEDR本体の無線LAN接続された状態からの説明となります。

スマートフォンとEDR本体の無線LAN接続については、下記のページを確認してください。

- ・「スマートフォンとEDR本体を無線LAN接続する (Android)」… 32～35 ページ
- ・「スマートフォンとEDR本体を無線LAN接続する (iOS)」… 36～38 ページ

## 1. 撮影角度の確認を表示する



① TOP画面から「設定」をタップします。

タップ

補足

- ・設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。

タップ



② 「撮影角度の確認」をタップします。

- ・カメラの撮影映像が表示されます。

タップ

## 2. 必要に応じてカメラの取り付け角度を調整する

① スマートフォンを横向きにします。



② カメラの角度調整が必要な場合は、「カメラ (フロント / リア) を車両に仮固定する (16 ページ)」に従って調整してください。



## ■ カメラの撮影映像を確認する (つづき)

### 補足

- ・画面下に表示されている「リア」「フロント」をタップすることで、カメラの映像(リア / フロント)を切り替えることができます。



- ・画面に表示されているボタンは、「×」「リア」「フロント」以外の画面をタップして、表示 / 非表示を切り替えることができます。
- ・スマートフォンに表示される映像は、通信状態などの影響で遅れて表示される場合があります。

### 3. カメラの撮影映像表示を終了する

- ① 画面左上の「×」ボタンをタップして画面を閉じます。



以上で、「カメラの撮影映像を確認する」の説明は終了です。

# 時刻同期させる

EDR 本体の時刻をスマートフォンの時刻と同期させる方法について、説明します。  
SD カードが EDR 本体に挿入され、スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続された状態からの説明となります。

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」… 32 ～ 35 ページ
- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」… 36 ～ 38 ページ

## 1. 時刻同期のメニューを表示する



① TOP 画面から「設定」をタップします。

タップ

補足

- ・設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。

タップ



## 2. 時刻同期を実行する



① 「時刻同期」をタップして時刻同期を実行します。

- ・本体の時刻がスマートフォンと同期されると、画面の下に「設定完了」と表示されます。

タップ

補足

- ・本体内蔵の時計は、誤差が生じます。そのため、実際の時刻と録画されている時刻にズレが生じている場合があります。時刻ズレ防止のため、専用スマートフォンアプリで、定期的(1 ヶ月に1回)に時刻同期することをおすすめします。
- ・EDR-22G は録画開始後、GPS 電波を受信することにより自動的に時刻同期されますが、録画開始時のファイルに記録される時刻にズレが生じる場合があります。前回の走行から期間が空いた場合には、走行前に専用スマートフォンアプリで時刻同期をおこなってください。
- ・バッテリー交換やバッテリー端子を外した場合、初期時刻(2022年1月1日)にリセットされます。再度、時刻同期をおこなってください。

以上で、「時刻同期させる」の説明は終了です。

# ■ 設定画面を表示させる

設定画面を表示させる方法について、説明します。

## 1. スマートフォンと EDR 本体を接続する

スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続については、下記のページを確認してください。

- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」… 32 ～ 35 ページ
- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」… 36 ～ 38 ページ

## 2. 設定画面を表示する



① TOP 画面から「設定」をタップします。

- ・ 設定画面が表示されます。

### 補足

- ・ 画面右上のメインメニュー「≡」をタップして表示されるメニューから「設定」をタップしても、設定画面を表示することが出来ます。



以上で、「設定画面を表示させる」の説明は終了です。

# ■ 無線 LAN パスワードを変更する

スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する際に必要となるパスワードの変更方法について、説明します。

SD カードが EDR 本体に挿入され、スマートフォンと EDR 本体の無線 LAN 接続された状態からの説明となります。

- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (Android)」… 32 ～ 35 ページ
- ・「スマートフォンと EDR 本体を無線 LAN 接続する (iOS)」… 36 ～ 38 ページ

## 1. 無線 LAN PASS 変更のメニューを表示する



① TOP 画面から「設定」をタップします。

補足

- ・設定画面の表示が「録画 / 録音」画面の場合、「機能」タブをタップしてください。

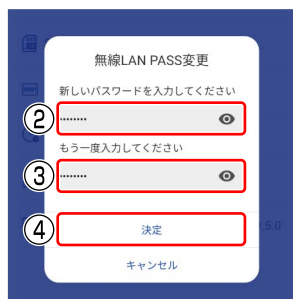
タップ



## 2. 無線 LAN のパスワードを変更する



① 機能タブの項目から「無線 LAN PASS 変更」をタップします。  
・無線 LAN PASS 変更の画面が表示されます。



② 「新しいパスワードを入力してください」欄に新しいパスワード (英数 8 文字以上) を入力します。  
③ 「もう一度入力してください」欄に②で入力したパスワードと同じパスワードを再度、入力します。  
④ 「決定」をタップして、新しいパスワードに変更します。

- ・無線 LAN パスワードの変更が完了すると、画面の下に「設定完了」と「MITSUBA EDR との接続が切断されました」が表示されます。

補足

- ・パスワードの変更をキャンセルする場合は、「キャンセル」をタップします。

# ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)

## 3-1. スマートフォンの EDR 接続情報を再設定する (Android)

### 注意

- ・無線 LAN のパスワードを変更した場合は、スマートフォンに保存された EDR 本体との無線 LAN 接続情報を一度削除する必要があります。接続情報を削除しないと、EDR 本体と無線 LAN 接続出来なくなります。必ず、接続情報を削除してください。

※ 項目名は、お使いのスマートフォンの機種によって異なります。



① スマートフォンの設定アイコンをタップします。



② スマートフォンの設定画面が開いたら、ネットワーク接続に関する項目「ネットワークとインターネット」や「接続」等をタップします。



③ ネットワーク接続に関する項目が開いたら、無線 LAN (Wi-Fi) が ON になっていることを確認します。

※ 無線 LAN (Wi-Fi) が OFF になっている場合は、ON にしてください。



④ 画面に表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を探し、選択画面が表示されるまで、接続先名を長押しします。

※ 「xxxx…」は EDR 本体固有の英数字です。

# ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)



⑤ 選択画面「接続 / 削除 / 変更」が表示されたら、「削除」をタップします。

- ・ 以上で、スマートフォンに保存されていた EDR 本体との無線 LAN 接続情報は、削除されました。

※ パスワード変更後に EDR 本体と無線 LAN 接続をおこなう場合は、変更後のパスワードを入力して接続してください。

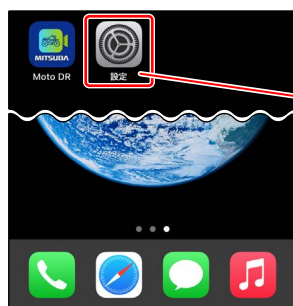
タップ

## 3-2. スマートフォンの EDR 接続情報を再設定する (iOS)

### 注意

- ・ 無線 LAN のパスワードを変更した場合は、スマートフォンに保存された EDR 本体との無線 LAN 接続情報を一度削除する必要があります。接続情報を削除しないと、EDR 本体と無線 LAN 接続出来なくなります。必ず、接続情報を削除してください。

※ 項目名は、お使いのスマートフォンの機種によって異なります。



① スマートフォンの設定アイコンをタップします。

タップ



② 設定が開いたら、無線 LAN (Wi-Fi) が ON になっていることを確認します。

※ 無線 LAN (Wi-Fi) が OFF になっている場合は、ON にしてください。



③ 画面に表示されている接続先 (SSID、アクセスポイント) 一覧から、「EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx」を探し、(i) アイコンをタップします。

※ 「xxxx…」は EDR 本体固有の英数字です。

タップ



## ■ 無線 LAN パスワードを変更する (つづき)



- ④ 画面に表示されている項目から「このネットワーク設定を削除」をタップします。



- ⑤ アプリの画面中央に「Wi-Fi ネットワーク” EDR\_MotoDRxxxxxxxxxxxx” を削除しますか？」のダイアログが表示されたら、「削除」をタップします。

※ 「xxxx…」は EDR 本体固有の英数字です。

- ・ 以上で、スマートフォンに保存されていた EDR 本体との無線 LAN 接続情報は、削除されました。

※ パスワード変更後に EDR 本体と無線 LAN 接続をおこなう場合は、変更後のパスワードを入力して接続してください。

以上で、「無線 LAN パスワードを変更する」の説明は終了です。

## ■ 無線 LAN パスワードを初期化する

無線 LAN パスワードを初期化する方法について、説明します。パスワードを忘れた際などにご使用ください。

### 1. 本体の電源を ON にする

- 車両のイグニッションキーを IG ON にすると、本体の電源が ON になります。

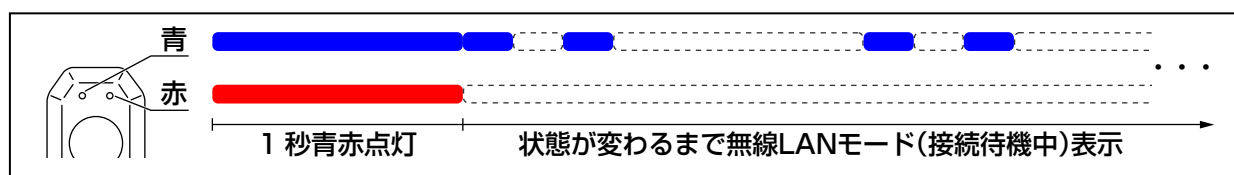
### 2. 無線 LAN モードにする

- ① システムチェックが終了し、本体が起動するまで待ちます。
- ② 本体が起動したら、スイッチのボタンを**長押し(3 秒以上)**します。
- ③ 無線 LAN モード(接続待機中)になるまで待ちます。

### 3. 無線 LAN パスワードを初期化する

- ① 無線 LAN モード(接続待機中)にスイッチのボタンを**長押し(3 秒以上)**します。
- ② パスワードの初期化が完了すると、下記パターンでインジケータが点灯します。

#### ●無線 LAN パスワード初期化完了時のインジケータ点灯パターン



■ : 点灯 / ( ) : 消灯

※ 無線 LAN パスワードの初期化は、無線 LAN 接続中でも実行出来ます。

※ 再接続の方法は、「スマートフォンと本体を無線 LAN で接続する」(21 ~ 22 ページ)を参照してください。

## ■ 本体の設定を初期化する

本体の設定を初期化(工場出荷状態)する方法について、説明します。通常と異なる動作をした際に、電源 OFF/ON で改善が見られない場合などにご使用ください。

※ **各種設定内容は全てリセットされ初期設定(工場出荷状態)に戻ります。**

#### ●リセットされる設定内容

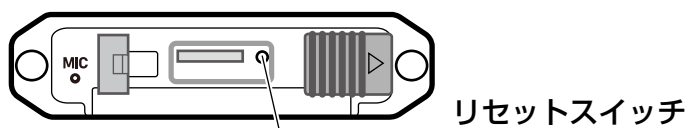
- ・時刻設定
- ・無線 LAN パスワード
- ・録画サイズ
- ・画質
- ・衝撃検知感度
- ・音声記録
- ・上書き(常時)
- ・上書き(衝撃 / 手動)

### ■ EDR 本体を初期化する

- ① 本体の電源を ON にします。
- ② 本体の防水キャップを開きます。
- ③ 本体の小さな孔にボールペン等の先端を挿し込みリセットスイッチを押します。(下図参照)

※しばらくしてインジケータが消灯し、本体が再起動します。

以上で、本体設定の初期化は終了です。



※ システムチェック後、エラー表示をする場合には、「こんなときは— Q&A —」(49 ~ 51 ページ)を確認の上、処置してください。



## ■ こんなときは－Q&A－

下記に不具合例とチェック項目、処置方法を記載しています。使用中に正常に動作しなくなった場合は、該当箇所の確認をおこなってください。該当箇所の処置をおこなっても改善が見られない場合は、ご購入頂きました販売店様または弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

### ●インジケータ表示関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・車両IGをONしても、インジケータが点灯しない。	・ヒューズが切れていませんか？	・ヒューズ切れの原因を取り除き、ヒューズ(3A)を交換してください。
		・電源ユニット、スイッチケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
2	・システムチェック動作後、インジケータが点灯しない。	・本体にSDカードが挿入されていますか？	・SDカードを正しく挿入してください。 ・別のSDカードを挿入してください。
3	・SDカード異常表示をする。	・SDカードに端子の汚れやひび割れはありませんか？	・SDカードの端子清掃や新しいSDカードと交換をしてください。
		・SDカードにEDRとは関係のないファイル、フォルダが書き込まれていませんか？	・EDRとは関係のないファイル、フォルダを削除するか、SDカードを本品でフォーマットしてください。
		・上書き保存(常時)がOFFに設定されていませんか？	・上書き保存(常時)の設定をONにするか、新しいSDカードと交換してください。
		・本品でフォーマットしていないSDカードを使用していませんか？	・フォーマットが必要です。本品でフォーマットしてください。
4	・イベント録画(衝撃録画、手動録画)の容量がいっぱい表示をする。	・保護した録画ファイルで(常時または衝撃・手動)ファイルがいっぱいになっていませんか？	・録画したファイルの保護を解除するか、不要なファイルを削除してください。
		・上書き保存(衝撃・手動)がOFFに設定されていませんか？	・上書き保存(衝撃・手動)の設定をONにするか、新しいSDカードに交換してください。
5	・フロントカメラ異常表示をする。	・フロントカメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
		・ケーブルやカメラに破損はありませんか？	・新しいカメラを購入してください。
6	・リアカメラ異常表示をする。	・リアカメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
		・ケーブルやカメラに破損はありませんか？	・新しいカメラを購入してください。
7	・GPS異常表示をする。 ※EDR-22Gのみ	・GPSケーブルの中継コネクタが外れていませんか？	・中継コネクタを接続し、ロックナットを締め付けてください。
		・GPSケーブルやGPSアンテナに破損はありませんか？	・新しいGPSアンテナを購入してください。
8	・本体異常表示をする。	・電源を入れ直してみましたか？	・車両のIGを一度OFFにし、しばらくしてからIGをONにしてください。

# ■ こんなときは－Q&A－(つづき)

## ●カメラ映像関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・カメラの映像が傾いて、または天地が逆に録画される。	・カメラ後部の TOP マーク「△」が上になっていますか？	・カメラ後部の TOP マーク「△」が上になるように調整してください。
2	・フロントカメラとリアカメラの映像が入れ替わって録画される。	・フロントカメラとリアカメラの本体接続が逆になっていませんか？	・正しい接続先に接続してください。
3	・フロントカメラとリアカメラの映像の色調に差がある。	・フロント、リアで録画時の被写体（環境）に差がありませんか？	・フロント、リア個別に被写体に合わせ、自動で色調を調整しています。異常ではありません。
4	・録画された映像が鮮明でない。	・録画サイズの設定が低くなっていませんか？	・録画サイズの設定を高くしてください。
		・画質の設定が低くなっていませんか？	・画質の設定を高くしてください。
		・カメラのレンズが、汚れていませんか？	・水を含ませた柔らかい布で、レンズを軽く拭いてください。
5	・録画された映像が乱れる。	・エンジンの OFF/ON で映像の乱れに差がありますか？	・車両からのノイズの可能性があります。カメラケーブルの引き回しや本体、電源ユニットの位置を変えて確認してください。
6	・録画された映像が揺れる。	・エンジンの OFF/ON で映像の揺れに差がありますか？	・カメラ固定部の振動が大きい可能性があります。カメラ固定位置を変えて確認してください。

## ●Gセンサー・GPS関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・衝撃録画がされない。	・衝撃検知の設定が OFF になっていませんか？	・衝撃検知感度の設定を ON にしてください。
		・衝撃検知感度の設定数値が大きく（鈍感）になっていませんか？	・衝撃検知感度の設定数値を小さく（敏感）してください。
2	・衝撃録画が頻繁にされる。	・本体が車両にしっかり固定されていますか？	・本体が動かないように固定してください。
		・衝撃検知感度の設定数値を小さく（敏感）していませんか？	・衝撃検知感度の設定数値を大きく（鈍感）してください。
3	・GPSの位置情報が取得出来ない。 位置がズれる。 ※EDR-22Gのみ	・GPSアンテナの上方向が金属または金属でコーティングされたもので覆われていませんか？	・GPS アンテナの上方向に金属または金属コーティングされたものがない場所に取り付けてください。
		・トンネル内や山間部、ビル街、高架下等を走行していませんか？	・周囲の環境によって、GPS 電波を受信しにくい場所があります。場所を変えて確認してください。

## ●無線 LAN 関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・スマートフォンから無線 LAN 接続出来ない。	・パスワードを正しく入力しましたか？	・正しいパスワードを入力してください。 ・パスワードが分からない場合は、無線 LAN パスワードを初期化してください。

# ■ こんなときは－Q&A－(つづき)

## ●無線 LAN 関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
2	・スマートフォンと接続したが、アプリで接続エラーになる。	・スマートフォンで「インターネット接続が無いネットワークの接続を維持する」に設定していますか？(Androidのみ)	・スマートフォンアプリガイドを参照して、接続をおこなってください。
		・別のスマートフォンが、接続されていませんか？	・複数のスマートフォンと同時接続出来ません。使用していないスマートフォンの接続を解除してください。
		・別のスマートフォンで接続出来ますか？	・スマートフォン個体の問題と思われます。別のスマートフォンで接続してください。

## ●動作関係

No.	こんなとき・症状	チェック項目	処置方法
1	・使用中に本体やカメラが発熱する。	・触れないほど熱いですか？	・使用中は発熱します。触れないほど発熱する場合は、直ちに使用を止めてください。
2	・録画映像の表示時刻と実際の時刻がズレている。	・時刻同期は定期的におこなっていますか？	・専用スマートフォンアプリを使用し、定期的に時刻同期をおこなってください。

# ■ ライセンス情報

Open source code	License	License Web addr
uitron/DrvExt/BlueTooth	GPL v3.0	<a href="https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.en.html">https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.en.html</a>
uitron/Include/Common/arm_neon.h		
uitron/ThirdParty/ecos-profiling		
uitron/ThirdParty/eCos		
uitron/Include/Common/arm_neon.h		
uitron/Common/LibC		
gcclibstdc++		
gcclibgcc	LGPL	<a href="https://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">https://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
uclibc		
glibc	BSD3.0	<a href="https://www.freebsd.org/copyright/freebsd-license.html">https://www.freebsd.org/copyright/freebsd-license.html</a>
uitron/Lib/iq_tuning_api		
axTLS		
DLNA		
uitron/Common/Utility/lz.c	RedHat eCos Public License	<a href="http://ecos.sourceware.org/old-license.html">http://ecos.sourceware.org/old-license.html</a>
uitron/Common/LibC		
uitron/Project/DemoKit/eCos/test_ping.c	MIT	<a href="https://mit-license.org/">https://mit-license.org/</a>
curl		

- Google、Android、Google Play、Google マップは、Google LLC の商標または登録商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- microSD™、microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Association の登録商標です。
- microSD、microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、core は米国 Intel Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

## ■ ご愛用者登録について

---

ご購入頂いた商品を下記 URL または二次元コードを読み取りアクセスし、ご登録頂くと、ご使用頂いている商品のアフターサービス情報や関連商品のご案内をお届け致します。



<https://www.mskw.co.jp/form/edr/>